

SS無線レーザーリーダー CTR-800-01 ハードウェア/システムメニュー

光通信ユニット **HIF-51**





正しく安全に お使いいただくために

弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の前にこのユーザーズマニュアルをよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明します。

⚠ 危険

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定され、かつ危険発生時の 警告の緊急性が高い」内容です。



この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は「障害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためにも、次の事柄は必ずお守りください。

i

必ずお守りください

⚠ 危険

CTR-800-01 または光通信ユニット(HIF-51)をご購入の方は、必ずお読みください。



火の中に投入しない! 加熱しない!

絶対にしないでください。発 熱、漏液、破裂、発火の原因に なります。 電極部をショートさせない!



絶対にしないでください。発 熱、漏液、破裂、発火の原因に なります。

CTR-800-01 をご購入の方は、必ずお読みください。

持ち運びのときには、スト ラップがひっかからないよ うに!



ストラップの取り扱いには十 分注意してください。

ストラップがほかの物にひっかかると、怪我や事故の原因となります。

レーザーを人に向けない!



絶対にしないでください。視力 に障害をきたす恐れがありま す。

電池の漏液が目に入った!



こすらずにすぐにきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると目に傷害を与える恐れがあります。

光通信ユニット (HIF-51) をご購入の方は、必ずお読みください。



HIF-51付属のACアダプタ以外は絶対に使用しない!

指定以外のものは使わないでください。発熱、漏液、破裂、発 火の原因になります。



CTR-800-01 または光通信ユニット(HIF-51)をご購入の方は、必ずお読みください。

発熱・発煙・異臭等の異常が 発生した!



すぐに電源スイッチを切り、 CTR-800-01 はバッテリーカートリッジを本体から外してく ださい。HIF-51 は AC アダプタ をコンセントから抜いてくだ さい。

引火、爆発の恐れがある場所 では使用しない!



引火性ガスや粉塵の発生する 場所で使用すると、爆発や火災 の原因となります。

本製品は、その故障が直接人命を脅かしたり人体に影響のある装置(原子力制御、航空宇宙、交通機器、燃焼機器、各種安全装置など)に使用するために開発、意図、許可されているものではありません。

異物が機器の内部に入った!



金属片・液体などが機器の内部 に入った場合は、使用を中止し てお買い上げの販売店にご連 絡ください。

高精度な制御や微弱な信号 を扱う電子機器の近くでは 使用しない!



電子機器(医療用電子機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など)が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

薬品に近づけない!



薬品が触れる場所や薬品のそばで使用・保管しないでください。 火災や感電、故障を起こす恐れがあります。



分解しない! 改造しない!

内部の点検、調整はお買い上げの販売店にお任せください。ショートや発熱により感電や火災を起こす恐れがあります。

CTR-800-01 をご購入の方は、必ずお読みください。



電池が漏液した! 変形した!変色した!

使用を中止してお買い上げの 販売店にご連絡ください。



電池の漏液が肌や服についた!

すぐにきれいな水で十分洗い 流してください。皮膚に障害を 起こす恐れがあります。



CTR-800-01 または光通信ユニット (HIF-51) をご購入の方は、必ずお読みください。

幼児の手の届く所に置かない!



怪我等の原因になります。

強い衝撃を与えない!



ハンマー等で叩いたり、釘等を 打ち込まないでください。発 火、破裂の原因になります。

直射日光・高温・多湿の場所 で保管・使用しない!



高温、多湿、直射日光の当たる 所、ほこりの多い所での保管や 使用は避けてください。機器の 故障の原因になります。



落ちたり、倒れたりして、怪我 や機器の故障の原因になりま す

不安定なところに置かな

コンピュータや蛍光灯、電子 レンジなどのノイズを発す る機器からは、なるべく離し てご使用ください!



ノイズの影響により、正しく通信できなくなる場合があります。

濡らさない!!



ショートや発熱による感電や 製品の故障を起こす恐れがあ ります。

CTR-800-01 をご購入の方は、必ずお読みください。



本体は、必ず手に取って操作してください!

床や机に置いたままの状態で、あるいは HIF-51 などに置いたままの操作はしないでください。機器の故障や誤作動の原因になります。

光通信ユニット (HIF-51) をご購入の方は、必ずお読みください。



正しくご使用ください!

HIF-51 に弊社指定外の物を置かないでください。機器の故障や誤作動の原因になります。

1. 本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵しています。



- 2. 本機を分解したり、本機の内部に触れることは電波法で禁止されており、 法律で罰せられることがあります。故障の際の内部点検、調整はお買い 上げの販売店にお任せください。
- 3. 本機は日本国内でのみ使用可能です。海外では電波規格が異なるため、 使用できません。

製品保証について

- 1. 製品をご購入頂きましたら保証書にお買い上げ日、御社名、御住所などをご記入の上、大切に保管してください。
- 2. 製品の無償保証期間はご購入日より 1 ヶ年、最長で出荷日より 1 年 3 ヶ月となります。ただし、無償保証期間内でも次のような場合は有償となることがありますので、ご了承ください。
 - (1) 保証書のご提示がないとき
 - (2) 保証書の所定事項に未記入の箇所がある場合
 - (3) マニュアル等に記載された使用方法および注意事項に反する取り扱いによる障害
 - (4) 故意または重大な過失による障害
 - (5) 使用環境が所定条件から逸脱したことによる障害
 - (6) 許可無く、改造または他機器の接続、取り付けを行なったことによる障害
 - (7) 災害、地震、水害等の天災地変による障害
 - (8) お客様の作成されたソフトウェアおよびシステムによる障害
 - (9) 使用上避けられない消耗による障害・部品交換(消耗品交換)
- 3. 製品の品質につきましては、十分注意して製造しておりますが、何かお気づきの 点がありましたらご連絡ください。
- 4. 製品の内容は、修正バージョンアップなどにより、予告なく変更することがあります。
- 5. 本製品の運用の結果生じた損失については、全てに関しての責任を負いかねます ので、ご了承ください。

この製品のキーシート(押しボタン)およびバッテリーカートリッジ は消耗品として扱います。



キーシートは、お客様の使用環境と使用回数によっては弊社の保証期間より短い期間での交換が必要になります。(キーシートの標準耐用回数は50万回です。ただし鉱物粉の多い環境や揮発性の油の近くで使用していると劣化が早まります。)

バッテリーカートリッジについては、「2-3 バッテリーカートリッジ (HBC-51)について」をご覧ください。

目次

製品保祉について	VI
目次	vii
はじめに	x
同梱品	
表記上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
本書の構成	XV
第1章 クイックガイド編	
1-1 各部の名称	
1-2 使用前の準備	
1-2-1 機器の接続	
1-2-2 周辺ソフトウェアについて	
1-3 無線通信について	
1-4 データ通信の準備	1-9
1-5 データ通信方法	1-11
第2章 ハードウェア編	
2-1 CTR-800-01の主な機能	
2-2 製品仕様	
2-2-1 製品仕様	
2-2-2 RS-232C インターフェース	
2-2-3 読取仕様	
2-3 バッテリーカートリッジ (HBC-51) について	2-10
2-3-1 バッテリーカートリッジの充電	
2-3-2 取り外し方	
2-3-3 取り付け方	
2-3-4 バッテリーカートリッジの消耗と交換	
2-3-5 電極の清掃に関する注意	
2-4 メモリバックアップ期間 (バックアップ用電池について)	
2-4-1 バックアップ用電池の充電	
2-4-2 ドライブ \$ のデータについて	
2-5 レジューム機能について	
2-6 画面出力キャラクタ	2-17

第3章 ソフトウェア編

3-1 CTR-800-01に搭載されているソフトウェアについて	
3-1-1 データの格納場所	
3-1-2 システムメニューについて	
3-1-3 CTR-800 用ブラウザについて	3-4
第4章 設定編	
4-1 はじめに	4-2
4-2 システムメニュー	4-3
4-2-1 システムメニューの操作	
4-3 システムメニューの起動	
4-3-1 起動方法	4-5
4-3-2 DHCP リクエストの実行	4-5
4-3-3 起動直後の無線動作状態	4-5
4-4 システムメニュー一覧	4-6
4-5 システム設定メニュー	4-7
4-5-1 自動的に起動するプログラムの設定	4-7
4-5-2 シリアル通信の設定	4-8
4-5-3 時計の設定	4-9
4-5-4 画面コントラストの調節	
4-5-5 ブザーおよびバイブレータの設定	4-11
4-5-6 スキャナの設定	
4-5-7 レジュームモードの設定	4-15
4-6 ネットワークメニュー	4-16
4-6-1 無線通信の設定	4-16
4-6-2 TCP / IP の設定	4-19
4-6-3 DHCP の設定	4-20
4-6-4 FTP の設定	4-21
4-6-5 DNS の設定	4-21
4-6-6 SNMPの設定	
4-6-7 MAC アドレスの表示	4-25
4-7 端末ID設定メニュー	4-26

4-8 ファイルメニュー	4-27
4-8-1 アプリケーションの起動	4-27
4-8-2 ファイルの送信	4-28
4-8-3 ファイルの受信	4-30
4-8-4 ファイルの削除	4-33
4-8-5 ファイルのテスト	4-33
4-8-6 ファイル情報	
4-8-7 ドライブ情報	
4-8-8 フォントの変更	4-36
4-9 確認メニュー	4-37
4-9-1 電池電圧	
4-9-2 OS バージョン	4-38
4-9-3 時計	
4-10 テストメニュー	4-39
4-10-1 無線のテスト	
4-10-2 シリアル通信のテスト	
4-10-3 バーコード読取のテスト	
4-10-4 画面表示のテスト	
4-10-5 キー入力のテスト	
4-10-6 ping テスト	
4-11 その他の機能	
4-11-1 低電圧警告	
4-11-2 オートパワーオフ	
4-12 CTR-800-01の初期化	
4-13 「WelferⅡ for Windows」の通信設定	
4-13-1 「WelferⅡ for Windows」の基本的な設定	
4-13-2 CTR-800-01 の通信設定	
4-13-3 CTR-800-01 から受信(アップロード)した ファイルの保存場所 .	4-51
第5章 FAQ編	
	5-2
Q:電源が入らない	
Q:画面に何も表示されない	
Q: しばらく操作を中断したら、電源が OFF になってしまった	
Q:充電できない	5-2
Q:システムメニューが起動しない	5-3
Q:電源を ON にしたときに起動するアプリケーションを変更したい	
Q:別のアプリケーションを起動するには	
Q:バーコードが上手く読取れない	
Q:ドライブの空き容量を確認するには	
Q:無線でデータ通信ができない	
Q:IrDA または RS-232C でデータ通信ができない	5-4

Q:ファイルの送受信中に「書き込みに失敗しました」と表示された5-5
Q:ファイルの送受信中に「タイムアウトしました」と表示された5-5
Q:ファイルの送受信中に「接続に失敗しました」と表示された5-5
Q:端末の IP アドレス等の設定をコンピュータから一括設定したい
Q:アプリケーションの起動やファイルの送受信ができない
Q:ファイルが壊れているようなのですが
Q:「アプリケーションエラー」と表示され、キーを押したら電源が OFF になった5-6
Q:「システムエラー」と表示され、キーを押したら電源がOFFになった5-6
第6章 光通信ユニット (HIF-51) 編
6-1 はじめに 6-2
6-1-1 各部の名称
6-2 接続
6-2-1 ホストコンピュータとの接続
6-3 デイジーチェーン接続
6-3-1 構成例 (DIP スイッチの設定)
6-4 インターフェース
6-4-1 RS-232C インターフェース
6-4-2 RS-485 インターフェース
6-4-3 インターフェース仕様6-11
付録 A システムメニュー出荷時設定
システムメニュー出荷時設定値一覧付録A-2
付録B サンプルバーコード
サンプルバーコード 付録B-2
索引

はじめに

この度は SS 無線レーザーリーダー CTR-800-01 をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

このユーザーズマニュアルは CTR-800-01 のハードウェアとシステムプログラムについて説明するものです。

お客様の業務の効率化に CTR-800-01 がお役に立てれば幸いに存じます。

CTR-800-01 のマニュアル構成

CTR-800-01 ハードウェア / システムメニュー (本書) CTR-800-01 が持つ基本的な機能や、操作 方法についてのマニュアルです。通信を する上で必要な設定や操作、CTR-800-01 の基本的な設定を行なうシステムメ ニューについて説明します。

「WebGlider」をお使いになる場合は、製品パッケージに付属のオンラインマニュアルをご覧ください。

同梱品

CTR-800-01 本体 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1
ストラップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	١
マニュアル (本書)	١
保証書 •••••••••••	1

別売り

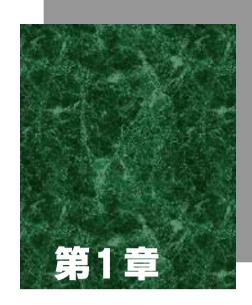
```
バッテリーカートリッジ (HBC-51)
SS 無線アクセスポイント (CTR-800-RL2)
充電器 (1個口: HQC-51、4個口: HQC-54)
保護カバー (HDC-51)
Web 対応統合ミドルウェアパッケージ「WebGlider」 (WBG-800-01)
PC 接続用ケーブル (HOP-C031)
弊社推奨プリンタ接続用ケーブル (HOP-C032)
光通信ユニット (HIF-51)
HIF-51 PC 接続用ケーブル (WRS-AXC003A)
HIF-51 デイジーチェーン接続用ケーブル (STP-C001A)
ファイル転送プログラム Welfer for Windows
```

表記上の注意

参照	参照事項を表わします。
注意	注意事項を表わします。
「CTR-800-01」 「端末」	バーコードリーダー本体を表わします。
「アクセスポイント」 「CTR-800-RL2」	CTR-800-01 と無線通信を行ない、TCP/IP でイーサネット LAN 上の PC とデータの送受信を行なう通信インターフェースです。 別途ご購入ください。
「光通信ユニット (HIF-51)」	CTR-800-01 と PC のシリアル通信インターフェースです。 別途ご購入ください。
「システム プログラム 」	CTR-800-01 に搭載されている、OS を指します。
「システム メニュー」	システムプログラムの機能の一部を指します。
「CTR-800 用 ブラウザ」	CTR-800-01 に標準搭載されている専用ブラウザを指します。ブラウザは「WebGlider」を使用してWeb型システムを構築する際に、ハンディのアプリケーションとして動作します。
「WebGlider」	Web 対応統合ミドルウェアパッケージ「WebGlider」(WBG-800-01)を指します。必要に応じて別途ご購入ください。
「Welfer II for Windows」	シリアル通信用のファイル転送プログラム「WelferⅡ for Windows」を指します。別途ご購入ください。
「ドライブS」	データファイル、パラメータファイルなどを格納するための領域を指します。
「ドライブF」	アプリケーション、データベースマスターファイルなどを格納するための領域を指します。
「バッテリー カートリッジ」	「HBC-51」を表わします。 別途ご購入ください。
「読取キー」	バーコードを読取るときに押します。
「テンキー」	◎~⑨、⊙のキーを表わします。
「デイジー チェーン」	光通信ユニット(HIF-51)同士を、専用ケーブルを使用して複数台接続することを表わします。

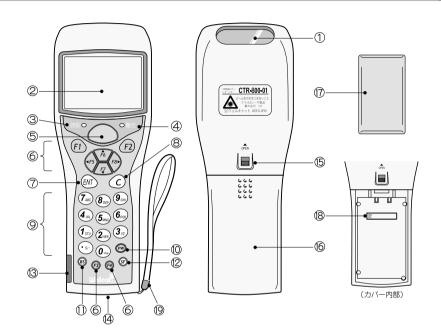
本書の構成

第1章 クイックガイド編 CTR-800-01 本体の基本的な取り扱いについて説明します。	第 1 章
第2章 ハードウェア編 CTR-800-01 の仕様や操作方法について説明します。	第 2 章
第3章 ソフトウェア編 CTR-800-01 に搭載されているソフトウェアについての 概要を説明します。	第 3 章
第4章 設定編 システムメニューの設定や操作方法を説明します。	第 4 章
第5章 FAQ編 よくあるご質問と対処方法を説明します。	第 5 章
第6章 光通信ユニット(HIF-51)編 光通信ユニット(HIF-51)について説明します。	第 6 章
付録 A システムメニュー出荷時設定	付 録 A
付録 B サンプルバーコード	付 録 B



クイックガイド編

1-1 各部の名称



読取口

バーコードを読取るための開口部です。

LCD(液晶表示器)

データや文字を表示します。

読取 LED

バーコードを正しく読取ると緑色に点灯します。

警告 LED

無線通信時にアクセスポイントからの電波の受信状態を表わします。(P.2-5)

読取キー

バーコードを読取るとき押します。

ファンクションキー (⑥ ~ ⑩) 機能の切り換えやカーソル操作をします。 (P.4-3)

= + - (Enter + -)

入力したデータや操作を確定、実行するときに押します。

◎キー(キャンセルキー)

入力の取消をしたり、画面を元に戻したりします。

テンキー(∅ ~ ⑨、⊙) 数字、小数点を入力します。

- (配) キー(電源スイッチ)
- ®キー (バックスペースキー) 入力した1つ前の字を消します。
- ⑤ キー(シフトキー)
 他のキーと一緒に押すことで、特殊な機能を働かせます。

IrDA インターフェース 光通信ユニット(HIF-51)や専用プリンタと IrDA で通信します。

RS-232C インターフェース 別売りのケーブルで、専用プリンタまたはコンピュータと接続します。

バッテリーカートリッジロックレバー(P.2-11)

バッテリーカバー (P.2-11) 必ずバッテリーカバーを付けた状態でご使用ください。

バッテリーカートリッジ (別売り) (P.2-10) ご購入直後のバッテリーカートリッジは、必ず充電してからご使用ください。

シリアル番号

バッテリーカートリッジを収納する本体内部には、シリアル番号が記載されています。

ハンドストラップ

1-2 使用前の準備

CTR-800-01 を使用する前に、次の準備と確認をしてください。

バッテリーカートリッジ - HBC-51 - (別売り)

CTR-800-01 の起動に必要です。別途ご購入の上、CTR-800-01 に正しく装着してください。(P.2-11)

読取口は汚れていませんか?

読取口が汚れていると、バーコードを正しく読取ることができません。汚れていた場合は、柔らかい布などで軽く拭いてください。



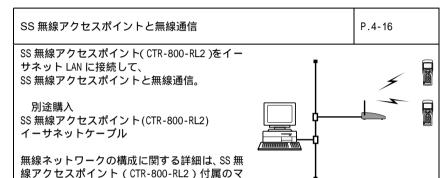
CTR-800-01 は、必ず手に取ってご使用ください。床の上などに置いたまま使用すると、故障の原因になります。

光通信ユニット (HIF-51) に置いたまま使用しないでください。光通信ユニットが倒れたり、CTR-800-01 が落下したり、故障の原因になります。

1-2-1 機器の接続

CTR-800-01 では、入力したデータをホストコンピュータに送信したり、ホストコンピュータからデータを受信したりすることができます。

ホストコンピュータとの接続には、次の3つの方法があります。使用環境に応じて必要な準備を整えてください。



ホストコンピュータの RS-232C コネクタと直接接続

P.4-8

ホストコンピュータと CTR-800-01 を PC 接続用 ケーブル(HOP-C031)で接続して RS-232C 通信。

別途購入 PC 接続用ケーブル (HOP-C031)

ニュアルをご覧ください。

ホストコンピュータを光通信ユニット(HIF-51)に接続してIrDA 通信を使用

P.4-8

ホストコンピュータと光通信ユニット (HIF-51)を HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A) で接続。光通信ユニットと IrDA 通信。

別途購入

光通信ユニット (HIF-51)

HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A)





光通信ユニット(HIF-51)をデイジーチェーン接続(P.6-6)で使用する場合は、別途デイジーチェーン接続用ケーブル(STP-C001A)をご購入ください。

1-2-2 周辺ソフトウェアについて

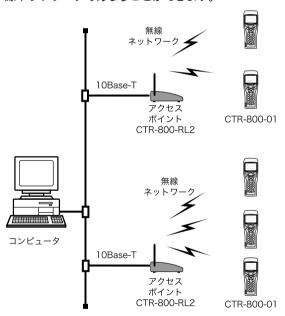
ホストコンピュータとのデータ通信や、CTR-800 用ブラウザを使ってシステムを構築する場合は、次のソフトウェアが別途必要です。

プログラム	準備・用途	参照
WebGlider	CTR-800 用ブラウザを使ってWeb型の無線システムを構築する場合に必要です。また、CTR-800-01 の各種設定を自動化する DHCP サーバやFTP サーバ、稼動モニタ等も「WebGlider」のパッケージに含まれています。必要に応じて別途ご購入ください。 CTR-800 用ブラウザを使ってデータ通信を行なう前に、コンピュータ側に「WebGlider」をインストールして、通信環境のセットアップを行なってください。	詳細は、ソフトウェア 付属のオンラインマ ニュアルをご覧くださ い。
Welfer Ⅱ for Windows	シリアル通信時のホストコン ピュータとのデータ送受信に必要 です。別途ご購入ください。 データ通信を行なう前に、ホストコ ンピュータ側に、「Welfer for Windows」をインストールしてくだ さい。	P.4-50または、ソフト ウェア付属のマニュア ルをご覧ください。

1-3 無線通信について

CTR-800 シリーズの無線機能

CTR-800 シリーズは、無線伝送方式によるハンディターミナル・ネットワークシステムです。パーコード端末は小型軽量で携帯性に優れており、コンピュータから離れた場所で移動しながらバーコードデータを収集する作業に適しています。無線方式には、秘匿性に優れ電波干渉への耐性が高い周波数ホッピングスペクトラム拡散方式を採用し、パーコード読取り時のデータエントリやファイルの送受信をリアルタイムに無線ネットワークで行なうことができます。



無線通信の方式

スペクトラム拡散(SS:Spread Spectrum)方式とは変調方式の一種で、周波数ホッピング(FH:Frequency Hopping)方式とは、スペクトラム拡散方式における無線通信技術のひとつです。秘匿性が高くノイズに強いという特長を持ち、同一空間上に複数の独立した通信チャンネルを確保できます。CTR-800シリーズでは、この無線通信方式を採用しています。

アクセスポイントの役割

アクセスポイントは端末 (CTR-800-01)への無線サービスエリアの提供と、有線イーサネット LAN とのパケット中継を行なう無線ネットワーク対応ローカルブリッジとして機能します。

端末は、それぞれが IP アドレスを持っており、アクセスポイントを介してダイレクトにイーサネット LAN に接続されたコンピュータと TCP/IP 通信を行ないます。

1-4 データ通信の準備

CTR-800-01 を使ってコンピュータとのデータ通信を行なうためには、次の設定を行なってください。

無線诵信

項目	解説	参照ページ
無線チャンネルの	通信相手となるアクセスポイントと	P.4-16
設定	チャンネル設定を合わせます。	
端末 ID の設定	各 CTR-800-01 に識別用の ID 番号を設定します。 「WebGlider」ではこの ID を使って端末の情報を識別表示します。	P.4-26
T00 (10 0 t0 t0		5 / /2
TCP/IP の設定	イーサネット LAN 上のコンピュータと TCP/IP 通信が行なえるようにアドレス を設定します。	P.4-19
FTP の設定	無線でファイル転送を行なう場合に設定します。 「WebGlider」の FTP サーバおよび一般 的な FTP サーバに対応します。	P.4-21
DHCP の設定	DHCP クライアント機能を使用する場合 に設定します。 「WebGlider」の DHCP サーバに対応しま す。	P.4-20
DNS の設定	DNS を使って名前の解決を行なう場合 に設定します。 DNS を使うかどうかはアプリケーショ ンに依存します。	P.4-21

は、DHCP クライアント機能 (P.4-20) を使うことによって、コンピュータ側で一括設定することが可能です。

DHCP クライアント機能をご使用になる場合は、別途「WebGlider」が必要です。

設定が終了したら、まず無線テスト(P.4-39)を行なってアクセスポイントと通信が行なえるか確認してください。その後 ping テスト(P.4-45)を実行してコンピュータとネットワーク通信が行なえるかどうかを確認してください。



CTR-800-01 の無線機能については、「1-3 無線通信について」(P.1-7)をご覧ください。

有線通信

項目	解説	参照ページ
端末 ID の設定	各 CTR-800-01 に識別用の ID 番号を 設定します。 「Welfer for Windows」ではこの ID を使って端末を識別します。	P.4-26
シリアル通信の設定	シリアル通信条件や使用する通信 ポート(IrDA/RS-232C)を設定しま す。通信条件は「Welfer for Windows」と端末で同じ設定に併せま す。	P.4-8

は、DHCP クライアント機能 (P.4-20) を使うことによって、コンピュータ側で一括設定することが可能です。

DHCP クライアント機能をご使用になる場合は、別途「WebGlider」が必要です。

1-5 データ通信方法

機器を準備したら、以下の手順でデータ通信を行ないます。

無線诵信の場合

無線诵信を行なう場合の手順は次のとおりです。



DHCP 機能(P.4-20)をご使用になる場合は、別途「WebGlider」が必要です。

設定が終了したら、まず無線テストを行なってアクセスポイントと通信が行なえるか確認してください。その後 ping テストを実行してコンピュータとネットワーク通信が行なえるかどうかを確認してください。

操作手順

SS 無線アクセスポイント (CTR-800-RL2) をイーサネット LAN に接続して、ホストコンピュータと通信できるよう設定を行なっておきます。



SS 無線アクセスポイント (CTR-800-RL2)の設置、イーサネット LAN への接続および通信の設定に関する詳細については、SS 無線アクセスポイント (CTR-800-RL2) 付属のマニュアルをご覧ください。

SS 無線アクセスポイント (CTR-800-RL2) の電源を ON にします。

CTR-800-01 の電源を ON にして、システムメニューから無線通信および TCP/IP の 設定を行ないます。(P.4-16)

FTP の設定を行ないファイルを送受信します。

- ・CTR-800-01 からホストコンピュータにファイルを送信する場合 > P.4-28
- ・CTR-800-01 でホストコンピュータからファイルを受信する場合 > P.4-30

有線诵信の場合

RS-232C 通信や IrDA 通信を行なう場合の手順は次のとおりです。

操作手順

「Welfer for Windows」がインストールされているホストコンピュータを起動 します。

光通信ユニット(HIF-51)を HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A)でホストコンピュータと接続した後、光通信ユニットの電源を ON にします。

CTR-800-01 とホストコンピュータを直接接続する場合は、PC 接続用ケーブル (HOP-C031) で接続します。

「Welfer for Windows」を起動して、ファイルの送受信に必要な設定を行ないます。(P.4-50)

CTR-800-01 の電源を ON にして、システムメニューから端末 ID およびシリアル通信の設定を行ないます。 (P.4-16)

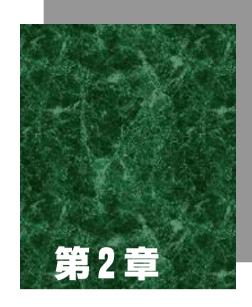


光通信ユニット(HIF-51)をデイジーチェーン接続で使用している場合、ホストコンピュータから、1 つのファイルを複数の端末に一度に送信(同報送信)することが可能です。(P.6-6)

また、デイジーチェーン接続されている複数の光通信ユニットでは、どのユニットからもホストコンピュータへデータを送信することが可能です。

ファイルを送受信します。

- ・CTR-800-01 からホストコンピュータにファイルを送信する場合 > P.4-28
- ・CTR-800-01 でホストコンピュータからファイルを受信する場合 > P.4-30



ハードウェア編

2-1 CTR-800-01の主な機能

1. コードレスで通信システムを実現

無線伝送方式により、端末はサービスエリア内なら自由に移動することができます。また将来システムを拡張する場合にも、容易に端末を増設できます。

2. TCP/IP プロトコルに対応

無線通信部は TCP/IP プロトコルに対応しており、端末は有線 LAN 上のコンピュータと诱過的に通信を行なうことができます。

3.「小電力データ通信システムの無線局(RCR STD-33A)」規格準拠

郵政省告示に従った技術適合試験合格品ですので、導入にあたって無線局の申請、 免許の取得等の手続きは一切不要です。

通信が可能な距離は周囲の環境によって異なりますが、目安として屋内約 100m、屋外約 200m まで可能です。

4. 高速なデータ伝送

周波数ホッピングスペクトラム拡散方式の採用により、高速な通信を実現しています。

5. 同一エリア内で複数のシステムが運用可能

無線通信は各システムごとに異なるチャンネルを使用するため、同一エリア内に アクセスポイントを複数台設置し、それぞれ並行して通信を行なうことができます。これにより無線通信のトラフィックに応じて効果的なネットワークを構築することができます。

エリア内で設置できる最大数は、アクセスポイント 240 台・端末 1000 台です。

6. IrDA インターフェースを装備

IrDA SIR Ver1.2 準拠。115kbps の高速ファイル転送を実現しました。 専用プリンタと IrDA で通信することもできます。

7. バイブレータ機能を標準搭載

騒音の大きな作業現場でも、確実な読取り確認が可能です。

8. 大容量バッテリーによる長時間駆動

別売りのバッテリーカートリッジ (HBC-51) を使用することにより、連続約 12 時間の使用が可能です。

9. 小型・軽量

本体が、小型かつ軽量のため使用環境を選ばず、手軽に持ち運ぶことができます。

2-2 製品仕様

2-2-1 製品仕様

 読取コード						
Fリアル 20f5、ITF、CODE93、CODE128、EAN128 読取桁数		読取コード	NW-7、CODE39、JAN-13/8、UPC-A/E、EAN13/8、インダス			
スキャナー部 読取幅 最大 350mm 光源 赤色光半導体レーザー MRD 25 分解能 0.127mm FROM 2M パイト(内 1.3MB がファイル領域) SRAM 2M パイト(内 800KB がファイル領域、720KB がアプリケーション用ワーク領域) 表示 LED 議取正誌/エラー 線/赤/権 基告 赤 (圏外時に点灯) STN 液晶フルドットマトリックス (グレーモード) 海筋×4行(16ドットモード)/8 桁×4行(16ドットモード) ANK 20桁×5行(12ドットモード)/16桁×4行(16ドットモード) 表示文字 JIS第一・第二水準漢字、ANK、記号、外字 コントラスト調整 8 段階 パックライト 恵即(1上上) 訪取り時、各種エラー時に鳴動 ブザーとの連動を選択可能 ガイブレーター 大の(1)・カートリッジを含む 電源 メインパッテリー リチウムイオン電池 ボインパッテリー						
 光源 赤色光半導体レーザー MRD 25 分解能 0.127mm FROM 2M パイト (内 1.3MB がファイル領域) 表示 LED 記取正誌 / エラー 線 / 赤 / 橙 ※告 赤 (圏外時に点灯) 表示 LED 記取上ボットマトリックス (グレーモード) 表示数 128×64 ドット 20 桁×5 行 (12 ドットモード) / 8 桁×4 行 (16 ドットモード) / 16 桁×4 行 (16 ドットモード) 表示直積 43 (W)×31 (H) mm 表示文字 JIS 第一・第二水準漢字、ANK、記号、外字コントラスト調整 8 段階 パックライト あり (LED) ブザー 読取り時、各種エラー時に鳴動 パイブレータ 読取り時、各種エラー時に振動 (ブザーとの連動を選択可能) 寸法 56.6 (W)×160 (D)×37.9 (H) mm / グリッブ部: 45 (W)×26 (H) mm 無量 約 190g (パッテリーカートリッジを含む) 電源 メインパッテリー リチウムイオン電池 パックアップパッテリー 二次リチウム電池 (メンテナンスフリー) 使用温度 -5~50 使用温度 -5~50 使用温度 -5~50 使用温度 20~80%RH (ただし結露無きこと) 						
MRD 25 分解能	スキャナー部					
分解能		光源	赤色光半導体レーザー			
FROM 2M バイト (内 1.3MB がファイル領域) 2M バイト (内 800KB がファイル領域, 720KB がアプリケーション用ワーク領域) 続取正読 / エラー 線 / 赤 / 橙 警告 赤 (圏外時に点灯) 表示 M		MRD	25			
メモリ 2Mバイト(内800KBがファイル領域、720KBがアプリケーション用ワーク領域) 表示 LED 読取正読 / エラー 線 / 赤 / 橙		分解能	0.127mm			
SRAM ション用ワーク領域		FROM	2M バイト (内 1.3MB がファイル領域)			
表示 LED 読取正読 / エラー 緑 / 赤 / 橙	メモリ	CDAM	2Mバイト(内 800KB がファイル領域、720KB がアプリケー			
接示		SKAWI	ション用ワーク領域)			
STN 液晶フルドットマトリックス(グレーモード) 漢字 10 桁×5 行(12 ドットモード) 後字 10 桁×5 行(12 ドットモード) 8 桁×4 行(16 ドットモード) 8 桁×4 行(16 ドットモード) 16 桁×4 行(16 ドットモード) 16 桁×4 行(16 ドットモード) 16 桁×4 行(16 ドットモード) 16 桁×4 行(16 ドットモード) 17 第二水準漢字、ANK、記号、外字 コントラスト調整 8 段階 17 ックライト あり(LED) 17 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 19	#=1FD	読取正読 / エラー	緑/赤/橙			
表示数 128×64 ドット	衣小 LED	警告	赤(圏外時に点灯)			
表示数 128 x 64 ドット		STN 液晶フルドットマトリ				
表示数 128 x 64 ドット			漢字 10桁×5行(12ドットモード)/			
ANK 20 桁×5 行 (12 ドットモード) / 16 桁×4 行 (16 ドットモード) 表示面積		==** 400 · C4 l* · · · l				
表示面積 43 (W) x 31 (H) mm 表示文字 JIS 第一・第二水準漢字、ANK、記号、外字 コントラスト調整 8 段階 パックライト あり (LED) ブザー 読取り時、各種エラー時に鳴動 バイブレータ 読取り時、各種エラー時に振動(ブザーとの連動を選択可能) 寸法 56.6 (W) x 160 (D) x 37.9 (H) mm / グリップ部: 45 (W) x 26 (H) mm 重量 約 190g (パッテリーカートリッジを含む) メインパッテリー リチウムイオン電池 バックアップバッテリー 二次リチウム電池 (メンテナンスフリー) 使用温度 -5~50 使用湿度 20~80%RH (ただし結露無きこと)		表示数 128×64 トット	ANK 20 桁×5 行 (12 ドットモード) /			
表示面積 43 (W) x 31 (H) mm 表示文字 JIS 第一・第二水準漢字、ANK、記号、外字 コントラスト調整 8 段階 パックライト あり (LED) ブザー 読取り時、各種エラー時に鳴動 バイブレータ 読取り時、各種エラー時に振動(ブザーとの連動を選択可能) 寸法 56.6 (W) x 160 (D) x 37.9 (H) mm / グリップ部: 45 (W) x 26 (H) mm 重量 約 190g (パッテリーカートリッジを含む) メインパッテリー リチウムイオン電池 バックアップバッテリー 二次リチウム電池 (メンテナンスフリー) 使用温度 -5~50 使用湿度 20~80%RH (ただし結露無きこと)	LCD 表示部		16 桁×4 行(16 ドットモード)			
コントラスト調整 8 段階 バックライト あり (LED) ブザー 読取り時、各種エラー時に鳴動 バイブレータ 読取り時、各種エラー時に振動(ブザーとの連動を選択可能) 寸法 56.6 (W) × 160 (D) × 37.9 (H) mm / グリップ部: 45 (W) × 26 (H) mm 重量 約 190g (バッテリーカートリッジを含む) メインバッテリー リチウムイオン電池 バックアップバッテリー 二次リチウム電池 (メンテナンスフリー) 使用温度 -5~50 使用温度 20~80%RH (ただし結露無きこと)		表示面積				
ブザー 訪取り時、各種エラー時に鳴動 バイブレータ 読取り時、各種エラー時に振動(ブザーとの連動を選択可能) 寸法 56.6 (W) × 160 (D) × 37.9 (H) mm / グリップ部: 45 (W) × 26 (H) mm 重量 約 190g (パッテリーカートリッジを含む) 電源 メインバッテリー リチウムイオン電池 パックアップバッテリー 二次リチウム電池 (メンテナンスフリー) 使用温度 -5~50 使用湿度 20~80%RH (ただし結露無きこと)		表示文字	JIS 第一・第二水準漢字、ANK、記号、外字			
プザー 読取り時、各種エラー時に鳴動 バイブレータ 読取り時、各種エラー時に振動(ブザーとの連動を選択可能) 寸法 56.6 (W) x 160 (D) x 37.9 (H) mm / グリップ部: 45 (W) x 26 (H) mm 重量 約 190g (バッテリーカートリッジを含む)		コントラスト調整	8 段階			
パイブレータ 読取り時、各種エラー時に振動(ブザーとの連動を選択可能) 寸法 56.6 (W) × 160 (D) × 37.9 (H) mm / グリップ部: 45 (W) × 26 (H) mm 重量 約 190g (パッテリーカートリッジを含む) ポインバッテリー リチウムイオン電池 パックアップパッテリー で申温度 -5~50 使用湿度 20~80%RH (ただし結露無きこと)		バックライト	あり(LED)			
寸法 56.6 (W) x 160 (D) x 37.9 (H) mm / グリップ部: 45 (W) x 26 (H) mm 重量 約 190g (バッテリーカートリッジを含む) 電源 メインバッテリー リチウムイオン電池 バックアップバッテリー 二次リチウム電池 (メンテナンスフリー) 使用温度 -5~50 使用湿度 20~80%RH (ただし結露無きこと)	ブザー	読取り時、各種エラー時に鳴	· ·			
重量 約 190g (バッテリーカートリッジを含む) 電源 メインバッテリー リチウムイオン電池 バックアップバッテリー 使用温度 -5~50 使用湿度 20~80%RH(ただし結露無きこと)	バイブレータ	読取り時、各種エラー時に挑				
電源 メインバッテリー リチウムイオン電池 バックアップバッテリー 二次リチウム電池 (メンテナンスフリー) 使用温度 -5~50 使用湿度 20~80%RH (ただし結露無きこと)	寸法	56.6 (W) × 160 (D) × 37.9	(H)mm/グリップ部:45(W)×26(H)mm			
電源バックアップバッテリー 二次リチウム電池(メンテナンスフリー)使用温度 -5~50使用湿度 20~80%RH(ただし結露無きこと)	重量	約 190g (バッテリーカート	Jッジを含む)			
(メンテナンスブリー	赤店	メインバッテリー				
使用湿度 20~80%RH(ただし結露無きこと)	电//ぶ	バックアップバッテリー	二次リチウム電池 (メンテナンスフリー)			
		使用温度	-5 ~ 50			
保存温度 -10~60		使用湿度	20~80%RH (ただし結露無きこと)			
		保存温度				
保存湿度 10~90%RH(ただし結露無きこと)	環境	保存湿度	10~90%RH (ただし結露無きこと)			
^{壊現} 防滴 JIS 型		防滴	JIS 型			
耐落下強度 120cm (コンクリート)		耐落下強度	120cm (コンクリート)			
人工光 4,800 lx typ.			人工光 4,800 lx typ.			
照度条件 (ただしナトリウムランプは除く)		照度条件	(ただしナトリウムランプは除く)			
			太陽光 107,000 lx typ.			
太陽光 107,000 lx typ.	連続使用時間	約 12 時間	Transfer of the same of the sa			
	時計機能	年(4桁)月日時分/閏年補正あり				
連続使用時間 約 12 時間	外部インター					
連続使用時間 約12時間 時計機能 年(4桁)月日時分/閏年補正あり	フェース	IrDA(IrDA SIR 1.2 Low Power Option 規格準拠)/RS-232C				

	通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散方式		
	無線周波数	2.4GHz 帯 (2.471~2.497GHz)		
	空中線電力	5mW / MHz 以下 (ピーク 100mW 以下)		
	伝送速度	最大 1.6Mbps		
	チャンネル数	15 (同時通信可能)		
無線部	サブチャンネル 15 (チャンネルを論理的に分割)			
	ドメイン数	16		
	セキュリティ	ハードウェアスクランブル		
		セキュリティ ID (約 1600 万種の設定が可能)		
	アンテナ	本体に内蔵		
	通信可能距離	屋内:約100m、屋外:約200m		
管理機能	SNMP エージェント (SNMPv1)			
サポート MIB	MIB- (RFC1213) 一部未対応			
	Welcat Enterprise MIB			

無線通信時の警告 LED の表示

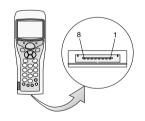
無線通信時の警告 LED の状態と意味は次のとおりです。

LED の状態	意味
消灯	アクセスポイントとの通信が可能。もしくは通信を行なっていない。
赤色点滅	直前まで通信可能だったが、通信圏外に近付いたため、アクセスポイント の電波が受信できなくなった。
赤色点灯	アクセスポイントと通信をしようとしているが、同期信号がまったく受信できない。

2-2-2 RS-232C インターフェース

信号名称およびコネクタピン配列

ピン番号	端子名	方向	説明	
2	GND	-	シグナルグランド	
3	TxD	出力	送信データ	
4	RTS	出力	送信要求	
5	RxD	入力	受信データ	
6 CTS 入力		送信可		
1、7、8	-	-	予約	



使用コネクタ: 3260-8S2 ヒロセ製 端子信号レベルは、JISX5101 相当

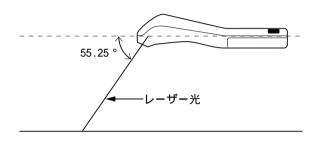


上記の予約のピンは、システムによってあらかじめ予約されています。独自のアプリケーション、ケーブル等による使用または接続はしないでください。ホストコンピュータと CTR-800-01 を直接接続するには、PC 接続用ケーブル(HOP-C031)を別途ご購入ください。

2-2-3 読取仕様

レーザー光の照射角度

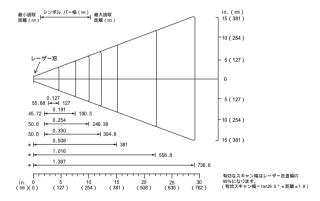
CTR-800-01 のレーザー光の照射角度は 55.25°です。



読取深度

バーコードの読取り可能範囲のことを読取深度といいます。CTR-800-01 の読取深度は、次の図のとおりです。

スキャン範囲及び分解能深度



読取距離範囲

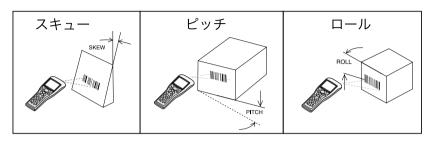
シンボル種類	(mm)	内容	太細比	最小読取距離 (mm)	最大読取距離 (mm)
CODE 39	0.127	ABCDEFGH	2.5:1	55.88	127
CODE 39	0.191	ABCDEF	2.5:1	45.72	190.5
CODE 39	0.254	FGH	2.2:1	50.8	246.38
UPC100%	0.330	012345678905	-	50.8	304.8
CODE 39	0.508	123	2.2:1	*	381
CODE 39	1.016	AB	2.2:1	*	558.8
CODE 39	1.397	CD	2.2:1	*	736.6

- 表補足 -

- *はバーコードの長さにより距離が変わります。
- ・読取距離は水平設置した状態のシャーシ底面より4.3mmの高さでのレーザー出射口端面からバーコードまでの水平距離です。
- ・バーコードは、Photographic quality symbols、白の反射率 > 90%、MRD90% (650nm)
- ・4回のトリガーで3回以上の読取りができること。
- ・ピッチ=15°、スキュー=0°、ロール=0°、周囲光<1600Ix、常温、常湿、グローランブ蛍光灯下

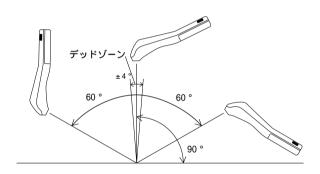
バーコードの傾きと読取可能角度

バーコードの傾きには、次の3種類があります。



スキュー

距離 254mm、分解能 0.508mm において、バーコードに対し垂直の上下 60 ° まで読取り可能です。



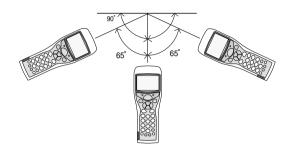


バーコード正面の垂直 ± 4 ° は正反射によるデッドゾーンで、読取りが悪くなることがあります。

上手く読取れない場合は、角度を変えて再度読取りを行なってください。

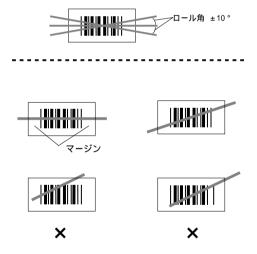
ピッチ

距離 177.8mm、分解能 0.508mm において、バーコードに対し垂直の左右 65°まで読取 り可能です。



ロール

距離 254mm、分解能 0.508mm において、バーコードに対しレーザー光を照射する角度です。





必ずレーザー光がラベルを横切るようにしてください。また、バーコード 左右の余白(マージン)も照射してください。

2-3 バッテリーカートリッジ(HBC-51)について



CTR-800-01 本体には、バッテリーカートリッジは同梱されていません。別途ご購入の上、正しくご使用ください。

バッテリーカートリッジの取り扱いの際は、必ず次のことに注意してください。

- ・ご購入頂きましたバッテリーカートリッジは、必ず充電してからご使用くだ さい。
- ・バッテリーカートリッジの取り外しは必ず電源を切ってから行なってください。動作中にバッテリーカートリッジを取り外すと、プログラムやデータが破壊される恐れがあります。
- ・バッテリーカートリッジおよび本体の電極部は手で触ったり、ゴミが付着することがないようにしてください。接触不良の原因となります。 汚れがついてしまった場合は、乾いた柔らかい布等で拭き取ってください。
- ・バッテリーカートリッジの取り付けや取り外しは、足の上に落下させないように机の上などで行なってください。
- ・ご使用の際は、必ずバッテリーカバーをつけてください。

2-3-1 バッテリーカートリッジの充電

バッテリーカートリッジの充電は、専用充電器 (HQC-51 / HQC-54) を使用します。充電は約2.5時間で完了します。



専用充電器 (HOC-51/HOC-54)は、別途ご購入ください。 詳細については、専用充電器に付属の取扱説明書をご覧ください。

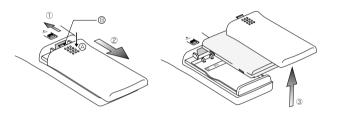
2-3-2 取り外し方

ロックレバーを の方向に引き上げて、ロックを解除します。

バッテリーカバーを の方向にスライドします。バッテリーカバーが固くて外しにくいときは、図の A の突起部分を矢印の方向に押しながらスライドさせます。

バッテリーカバーのツメ (図の B の部分) が完全に露出するまで の方向にスライド します。

バッテリーカバーを の方向にまっすぐ外して、中のバッテリーカートリッジを取り出します。





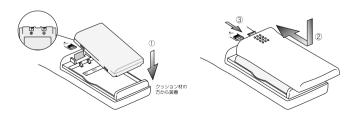
バッテリーカバーを斜め に外そうとするなど、誤っ た取扱をするとバッテ リーカバーや本体を破損 させることがあります。

2-3-3 取り付け方

バッテリーカバーを外して本体の電極部とバッテリーカートリッジの電極部の位置を合わせ、バッテリーを の様に挿入します。

バッテリーカバーを の方向にスライドして取り付けます。

バッテリーカバーのつめが、完全に本体に挿入されたことを確認したら、ロックレバーを の方向に戻します。完全にロックされバッテリーカバーが外れないことを確認してください。



2-3-4 バッテリーカートリッジの消耗と交換

バッテリーカートリッジは消耗品です。正しい使い方をしていても、充放電を繰り返 しているうちに、徐々に劣化していく性質があります。

規定の時間充電しても使用時間が極度に短くなるようであれば、新しいバッテリーカートリッジに交換してください。

長期間の保管について

バッテリーカートリッジは長期間に渡り放置すると、過放電により電池が急激に劣化する恐れがありますので、定期的に充電してください。長期間使用しない場合は、次のことに注意してください。

- ・1ヶ月以上使用しない場合は、バッテリーカートリッジを取り外して室温で保 管してください。
- ・バッテリーカートリッジは 3 ヶ月以上充電しないと、電池が劣化して使用できなくなる恐れがあります。3ヶ月に1回程度充電を行なうようにしてください。

2-3-5 電極の清掃に関する注意

バッテリーの使用時間が短くなる、起動しにくくなる等の症状が見られる場合、バッテリーの劣化以外にも電極の汚れによる接触不良が原因となっていることがあります。汚れが原因の場合はバッテリーカートリッジ側、本体側の両方の電極を清掃することで症状が改善します。

電極の清掃方法

清潔で乾いた柔らかい布、綿棒等で電極の汚れを拭きとってください。汚れた布や指、 固い物では決してこすらないでください。また強く拭くと電極に傷がついたり、特に 本体側の電極は変形する恐れがありますので、軽い力で拭くよう注意してください。

2-4 メモリバックアップ期間 (バックアップ用電池について)

メモリバックアップ期間は3ヶ月です。

CTR-800-01 には、バッテリーカートリッジの他に、CTR-800-01 の内蔵時計やドライブSに保存されているデータの保持のために、バックアップ用電池が内蔵されています。

メモリバックアップ期間とは、このバックアップ用電池が満充電から完全に消耗する までの期間のことです。

11" = 11	バッテリーカートリッジ	バックアップ用電池
 バッテリー 	別売り	本体内蔵
用途	CTR-800-01 の起動に必須	CTR-800-01 の内蔵時計やドライブ Sに保存されているデータの保持
充電時間	2.5 時間 専用充電器 (HQC-51 / HQC- 54) 使用 (P.2-10)	CTR-800-01 に満充電のバッテリー カートリッジを装着し充電操作開 始後、約2日(P.2-14)
使用可能期間 (満充電時)	約 12 時間	バッテリーカートリッジの完全消 耗から3ヶ月
使用上の注意	3ヶ月以上充電しない場合、電池が劣化して、使用できなくなる恐れがあります。3ヶ月に1回程度充電を行なうようにしてください。(P.2-12)	バッテリーカートリッジが完全に 消耗している状態、または取り外し たまま CTR-800-01 を 3 ヶ月以上放 置すると、バックアップ用電池も消 耗し内蔵時計の情報やドライブ S に保存されていたデータは消失し ます。3ヶ月に1度は満充電された バッテリーカートリッジを使用し て、バックアップ用電池の充電を行 なってください。(P.2-14)



バックアップ用電池の消耗により消失したデータは、復元できません。データ保持のためには、3ヶ月に1度は満充電されたバッテリーカートリッジをCTR-800-01 に装着して、一度®キーを押して電源を ON にしてください。(「2-4-1 バックアップ用電池の充電」(P.2-14)参照)

メモリバックアップの期間は温度等の周囲環境で大きく変り、0 以下の場所もしくは 40 以上の場所で保存すると、バックアップ期間が急激に短くなります。バッテリーは、室温での使用をおすすめします。

2-4-1 バックアップ用電池の充電

バックアップ用電池の充電方法について説明します。

操作手順

CTR-800-01(バッテリーカートリッジ無し)と満充電されたバッテリーカートリッジ 1 本を用意します。

CTR-800-01 にバッテリーカートリッジを装着します。(P.2-11)



バッテリーカートリッジを装着しただけでは、充電は開始されません。

→ キーを押して電源を ON にすると、バックアップ用電池への充電が開始されます。

バックアップ用電池が完全に消耗していた場合は、この操作以降、最低 2 日間は バッテリーカートリッジを外さないでください。

充電開始後、☞キーを押して電源を OFF にしても、バーコードの読取りなど通常に使用を行なっても、一度バックアップ用電池への充電が開始されると、バッテリーカートリッジが外されるか完全に消耗するまでは、バックアップ用電池への充電を行ないます。

充電中、バッテリーカートリッジが消耗してしまったり、取り外した場合は、バックアップ用電池への充電は停止します。再度、 から操作を行なってください。

2-4-2 ドライブSのデータについて

CTR-800-01 はファイルを保存する領域として、ドライブ S とドライブ F の E つのドライブを持っています。

ユーザによって入力されたデータはドライブSに保存されます。ドライブSは、揮発性のドライブのため長期間充電を行なわずに放置しておくと内容が消失してしまうことがあります。ドライブSのメモリバックアップの期間は、バックアップ用電池が満充電の状態から、約3ヶ月を目安としてください。



アプリケーションプログラムはドライブ F に保存します。ドライブ F は不揮発性のため、保存内容はバッテリーが完全に消耗しても消失することはありません。

データの格納場所に関する詳細は、「3-1-1 データの格納場所」(P.3-3)をご覧ください。

2-5 レジューム機能について

CTR-800-01 はレジューム機能 (P.4-15) をサポートしており、システムメニューの 設定によって (※) キーによる電源 ON 時の動作を選択することができます。

レジュームモード ON	CTR-800-01 の電源を OFF にした後、次に∞キーで起動すると、電源 OFF の直前に実行されていた処理から動作を再開します。
レジュームモード OFF	CTR-800-01 の電源を OFF にした後、次に@キーで起動すると、常に処理が最初から実行されます。

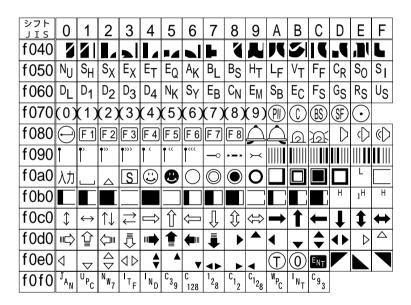


電源 ON 時にバッテリーを脱着した場合は、レジュームモードが ON であってもレジュームモード OFF 時と同様に最初からプログラムが実行されますので、ご注意ください。 また、電源 OFF 時でも DHCP 設定が「毎起動時に実行」である場合、プログラム処理が最初から実行されます。

2-6 画面出カキャラクタ

全角文字

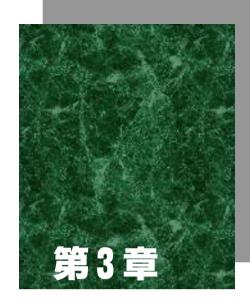
全角文字は、シフト JIS (OADG の 2 バイト文字セット)を使います。 シフト JIS は第 1 バイトが 81~9F、E0~FC、第 2 バイトは 40~7E、80~FC にあります。次の表は、弊社で作成した拡張文字一覧です。



半角文字

半角文字は、OADGの1バイト文字セットを使います。 80、A0、FD、FE、FFの5文字は弊社で作成した拡張文字です。

上位位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Α	В	С	D	Ε	F
0		Ŧ		0	0	P	ſ	р	Δ			-	9	111		
1	F		!	1	A	Q	a	q			0	7	Ŧ	7		
2	7	1	"	2	В	R	b	r			Γ	1	ッ	X		
3			#	3	C	S	С	S			J	ゥ	テ	ŧ		
4		11111	\$	4	D	T	d	t			`	I	+	Þ		
5			%	5	E	U	е	U			•	才	t	ı		
6		T	&	6	F	V	f	V			J	ħ	=	3		
7		1	,	7	G	W	g	W			7	+	ヌ	ラ		
8			(8	Н	X	h	Х			1	ク	ネ	IJ		
9	0	71)	9	-	Υ	i	у			ゥ	ケ	J	11		
Α		1111	*	:	J	Z	j	Z			I	П	1	V		
В	M	L	+	• 1	K	[k	{			オ	Ħ	٢			
С			ı	\	Ь	¥					ヤ	シ	フ	D		
D				"	M]	=	}			1	ス	^	ン		S
Е				>	N	٨	n				Ξ	セ	ホ	4		λ
F	*		/	?	0	_	0				ッ	y	7	0		力



ソフトウェア編

3-1 CTR-800-01に搭載されているソフトウェアに ついて

CTR-800-01 のソフトウェアは、次の2種類で構成されています。

システムプログラム	CTR-800-01 の基本動作を制御するプログラムです。パソコンの OS (基本ソフトウェア)に相当するもので、あらかじめ CTR-800-01 に搭載されています。基本的な動作パラメータの設定や各種確認作業を行なう「システムメニュー」はシステムプログラムの一部です。
アプリケーションプログラム	ユーザ業務処理の際に使用するプログラムです。バーコードの読取りや、コンピュータへのデータ転送などは、主にこのプログラムを使用します。 CTR-800-01 では「WebGlider」を使ってシステムを構成する場合のために、あらかじめ「CTR-800 用ブラウザ(WEB800S.OUT)」がロードされています。「WebGlider」をご購入いただくと、CTR-800 用ブラウザとの組み合わせで容易にWeb型のシステムを構築することができます。また別売りのアプリケーション開発キットを使用して、ユーザ独自のプログラムを作成することができ、幅広い業務に対応が可能です。



システムメニューについての詳細は、「4-2 システムメニュー」(P.4-3)をご覧ください。

「WebGlider」ついての詳細は、製品パッケージに付属のオンラインマニュアルをご覧ください。

3-1-1 データの格納場所

データの格納場所について(ドライブの構成)

CTR-800-01 にはデータを格納する領域として、ドライブ S とドライブ F の 2 つのドライブを持っています。

ドライブ	データ保持	用途	最大保存数	
ドライブS	揮発性メモリ バックアップ用電池が無 くなった後は、ドライブ の内容は消失します。	頻繁に書き換えが行なわれ るファイルを格納する領域 として使用します。	32 ファイル	
ドライブF	不揮発性メモリ バックアップ用電池が無 くなった後も、ドライブ の内容は保持されます。	アプリケーション、データ ベースマスターファイル等 書き換えの起こらないファ イルを格納するための領域 として使用します。	20 ファイル	

ドライブ F にファイルを受信する場合、ファイルを一度ドライブ S に受信した後にドライブ F へ移動します。ファイルをドライブ F に受信する際には、あらかじめ受信するファイルを格納するのに十分な空き領域がドライブ S にあることをご確認ください。

また、ドライブSに同名のファイルがあった場合、ドライブFへファイルを移動した後、ドライブSにあったファイルは消去されます。

ファイル名について

CTR-800-01 で使用できるファイル名には、次の制限があります。

ファイル名	1~8 パイトの長さで、アルファベット (A~Z)、数字(0~9)、一部の記号(! $\#$ %'() $@$ ^_{}~)を任意に組み合わせて作成することができます。全角文字は使用できません。
拡張子	1~3 バイトの長さで指定してください。拡張子を省略することもできます。使用できる文字はファイル名と同じです。 拡張子を指定する場合は、ファイル名との間に「.」が必要になります。
	「.OUT」という拡張子のファイルをアプリケーションとして認識します。 「.FNV」という拡張子のファイルをフォントファイルとして認識します。

CTR-800 用ブラウザが作成するファイル

CTR-800 用ブラウザをお使いの場合は、HTTP 通信中に以下のファイルをドライブ S に 作成します。同名のファイルが存在した場合は上書きされますので、お客様の作成するファイルには、次のファイル名を付けないようご注意ください。

- HTTP I OG
- ・HTTPTEMP (拡張子無し)
- ・HEADTEMP (拡張子無し)

また、これらのファイルが作成されるため、お客様が実際にドライブ S に保存できるファイル数は最大 29 個までとなります。



ファイル数が多すぎる、またはドライブ S に空き容量が無い等の理由で上記のファイルが作成できないとき、CTR-800 用ブラウザは正常に動作できなくなります。

3-1-2 システムメニューについて

システムメニューでは、CTR-800-01 の基本的な動作設定やアプリケーションプログ ラムのインストール、データファイルの転送などを行ないます。



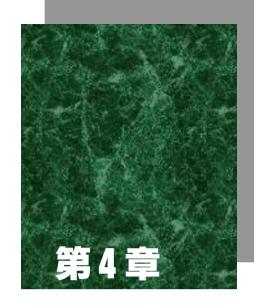
システムメニューについての詳細は、「4-2 システムメニュー」(P.4-3)をご覧ください。

3-1-3 CTR-800 用ブラウザについて

CTR-800-01 専用ブラウザ(WEB800S.OUT)は、出荷時に CTR-800-01 に搭載されています。このアプリケーションプログラムは、「WebGlider」と組み合わせて Web 型のシステムを構築する場合に使用します。

アプリケーション処理の実現方法に関する詳細は、「WebGlider」付属のオンラインマニュアルをご覧ください。

なお、アプリケーション開発キット HAP-SDK-11 および CTR-800-01 用機種別ライブラリ HAP-LIB-81 を使用して、独自にアプリケーションを開発される場合は、CTR-800 用ブラウザは必要ありませんので削除して頂いて構いません。



設定編

4-1 はじめに

CTR-800-01 では「システムメニュー」を使用して、ネットワーク通信設定、動作設定、アプリケーションプログラムのインストール、データファイルの転送、各種確認作業等を行なうことができます。

システムメニュー

システムメニューとは、システムプログラム (P.3-2)の一部で、オペレーティングシステムを構成する機能の一部として CTR-800-01 に標準搭載され、システム全体の環境設定とアプリケーションプログラムをインストール・実行するためのプラットフォームを提供します。

この章では、「システムメニュー」の使い方を中心に、CTR-800-01 の動作設定や各種確認作業について説明します。

4-2 システムメニュー

4-2-1 システムメニューの操作

システムメニューの操作には、次のキーを使用します。

©	1 つ前のメニューに戻ります。
①~⑨	該当する番号のメニュー項目を選択します。
(BNT)	メニュー項目の選択を確定します。
F 4	バックライトを点灯します。
∅ ()② ()② ()④ ()	メニュー項目に表示されているカーソル(選択領域) を矢印の方向に移動します。

操作方法

メニュー項目を選択する

各メニューの左にある項目番号に該当するテンキー(①~③)を押すか、⑥~⑥を押してカーソルを任意の方向に移動します。カーソルの移動したメニュー項目は、ハイライト表示(反転表示=選択されている状態)になります。この状態で圖キーを押します。選択したメ

< >X7LXX=1- >

1:システム 2:ネットワーク 3:端末ID 6:テスト

ニュー項目に該当する機能が実行するか、または次のメニューを表示します。

前のメニューに戻る

前のメニューに戻るときは⑥キーを押します。戻り先のメニューでは、直前に選択していたメニュー項目をハイライト(反転)表示します。

画面の表示について

表示されるメニュー(画面)によっては、項目の左側に「F:~」または「S:~」のようなアルファベットが表示される場合があります。項目の左側に表示されているアルファベットは、「F」=「ドライブF」、「S」=「ドライブS」を表わします。

すべてのメニュー項目が 1 画面に収まらない場合は、画面の左側に[](画面の上にメニュー項目が隠れている場合)または[](画面の下にメニュー項目が隠れている場合)を表示します。また、隠れているメニュー項目にカーソルを移動すると、自動的に画面がスクロールします。



IP アドレス等の設定について

IPアドレス等は、「000.000.000.000」のような形式で設定します。値を変更する場合は、変更する箇所へカーソルを移動して、新しい値を上書き入力してください。
© キーや®キーによる入力値の修正はできません。

また、3桁に満たない値は、「001」のように3桁で入力してください。

4-3 システムメニューの起動

4-3-1 起動方法

操作手順

バッテリカートリッジが正しく装着され、電源が OFF の状態で、∞ キーを 1 秒程度押し続けると CTR-800-01 の電源が ON になりシステムメニューが起動します。

オープニング画面の表示後に、システムメニューが表示されます。

選択さ

CTR-800-01 (6330)

(C) 2002 Welcat Inc.

自動実行プログラム(P.4-7)にアプリケーションが選択されている場合は、読取キーを押しながら®キーを押すと、システムメニューが起動します。

〈 システムメニュー 〉

1:システム 2:ネットワーク 3:端末ID 4:ファイル 5:確認 6:テスト

4-3-2 DHCP リクエストの実行

ネットワークの DHCP 設定 (P.4-20)が、[毎起動時に実行] に設定されている場合、CTR-800-01 を起動直後に DHCP リク エストが実行されます。

アクセスポイントと無線通信が可能な状態で、TCP/IP ネットワーク上に「WebGlider」ネットワーク管理ツールの DHCP

〈 DHCPリクエスト実行中 〉

サーバにアクセス しています

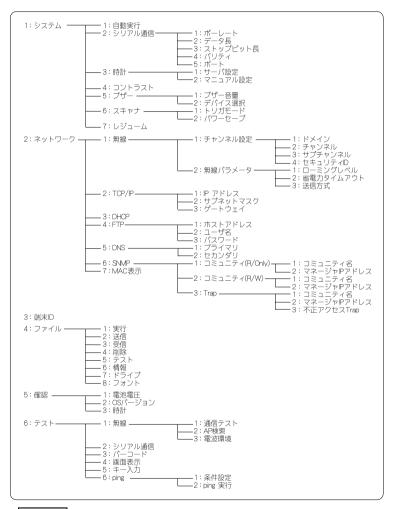
サーバと FTP サーバが起動していれば、CTR-800-01 の各種環境設定値や指定されたファイルをダウンロードし、自動的に設定を行ないます。

自動実行プログラム (P.4-7) にアプリケーションが選択されている場合は、DHCP リクエストが実行された後に、アプリケーションが起動します。

4-3-3 起動直後の無線動作状態

CTR-800-01 の起動直後は、無線通信部は省電力状態となっています。そのため起動直後に無線通信関連のメニューを選択すると、約0.5秒~1秒後に通信可能状態になります。

4-4 システムメニュー一覧





システムメニューの出荷時設定については、「付録 A システムメニュー 出荷時設定」(付録 A-2)を参照してください。

4-5 システム設定メニュー

4-5-1 自動的に起動するプログラムの設定

電源を ON にしたときに、自動的に起動するプログラムの設定を行ないます。出荷時の状態では、システムメニューが設定されています。

DHCP 機能 (P.4-20) を使用している場合、自動設定が可能です。

操作手順

システムメニューから「1:システム」を選択します。

< システム メニュー >

1:システム 4:ファイル 2:ネットワーク 5:確認 3:端末ID 6:テスト

「1:自動実行」を選択します。

く システム設定 >

[:自動実行 5:ブザ2:シリアル通信 6:スキャナ
3:時計 7:レジューム

「1:システムメニュー」または「2:アプリケーション」 を選択します。最下行には、現在設定されているプログ ラム名を表示します。 〈 自動実行の設定 〉 <mark>|1:システム メニュー</mark> |2:アプリケーション

「システム メニュー〕

「1:システムメニュー」を選択すると、電源投入後の 自動実行はシステムメニューに設定されます。

「2:アプリケーション」を選択した場合は、インストールされているアプリケーションの一覧が表示されますので、この中から選択します。

〈 自動実行の設定 〉 F:WEB800S.OUT 200K

アプリケーションを選択すると、最下行には選択したアプリケーション名を表示 します。

アプリケーションが格納されていない場合

アプリケーションが1つもない場合は、「ファイルがありません」と表示します。 ② キーを押すと、1つ前の画面に戻ります。

4-5-2 シリアル通信の設定

シリアルポート (RS-232C または IrDA) の通信条件を設定します。DHCP 機能 (P.4-20) を使用している場合、自動設定が可能です。

操作手順

システムメニューから「1:システム」を選択します。

〈 システム設定 〉 1:自動実行 5:プザー <mark>2:シリアル値</mark>信 6:スキャナ 3:時計 7:レジューム 4:コントラスト

「2:シリアル通信」を選択すると、現在の通信設定を表示します。

1:ボーレート	115200bps
2:データ長	8bit
3:ストップビッ	ト長 1bit
4:パリティ	なし
5:ポート	IRDA

各項目にカーソルを合わせて、 (m) キーを押すと現在設定されている値を変更できます。 設定できる項目と数値は次のとおりです。

項目	設定可能範囲	出荷時設定値
1:ボーレート	2400bps • 9600bps • 19200bps • 38400bps • 57600bps • 115200bps	115200bps
2:データ長	7 ビットまたは 8 ビット	8 ビット
3:ストップビット長	1 ビットまたは 2 ビット	1 ビット
4:パリティ	奇数パリティ・偶数パリティ・なし	なし
5:ポート	IrDA(赤外線通信)またはRS-232C	IrDA

4-5-3 時計の設定

ホストコンピュータに時刻を問い合わせて、システムの時計を設定します。 マニュアルで設定することもできます。DHCP 機能(P.4-20)を使用している場合、 自動設定が可能です。

ホストコンピュータから時刻を受け取るには、あらかじめ次の事項を確認してくださ 61.

- ・ 通信設定(ID、チャンネル等)は正しく設定されているか
- ・アクセスポイントとホストコンピュータは正しく設定、接続されているか
- ・ アクセスポイントとホストコンピュータの電源は入っているか
- アクセスポイントは正常に動作しているか



無線ネットワークの構成に関する詳細は、SS 無線アクセスポイント (CTR-800-RL2)付属のマニュアルをご覧ください。

操作手順

システムメニューから「1:システム」を選択します。

「3:時計」を選択します。

〈 システム設定 〉 1:自動実行 5:ブザー 2:シリアル通信 6:スキャナ 3:時計 7:レジューム

4:コントラスト

「1:サーバ設定」または「2:マニュアル設定」を選択 する

〈 時計の設定 〉 1:サーバ設定 2:マニュアル設定

「1:サーバ設定」を選択すると、「WebGlider」 ネットワー ク管理ツールの DHCP サーバから時刻データを受け取りま す。受信が完了すると、設定された時刻が表示されます。

⑤キーを押すと1つ前の画面に戻ります。

〈時計の設定〉

サーバに時刻を 問い合わせています



時計の設定で「サーバ設定」を行なう場合、 「WebGlider」ネットワーク管理ツールの DHCPサーバが起動していなければなりませ h.

〈 ただいまの時刻 〉

2002 / 04 / 01 02 : 35 : 47

無線通信がうまく行なえなかった場合は、数秒後にマ ニュアル設定の確認画面となります。

再度サーバから時刻を受け取る場合は、「1:リトライ」 を選択した状態で@mキーを押します。

時計の設定を中止するには、②キーを押します。

時刻を自分で入力する場合は、 または の画面で「2:マニュアル」を選択して時刻の入力状態にします。

(※) キーや (※) キーで設定する年月日時分秒を選択し、 テンキーで値を入力します。 (※) キーを押して設定を確 定します。

入力を中止して元の値に戻すには、ⓒキーを押します。

〈 時計の設定 〉

設定に失敗しました マニュアル設定できます **|:リトラス** 2:マニュアル

〈時計の設定(マニュアル) 〉

2002 / 04 / 01 00 : 00 : 00

ここで設定した時間は、「4-9-3 時計」(P.4-38)で確認できます。

4-5-4 画面コントラストの調節

液晶画面のコントラストを設定(8段階)します。

操作手順

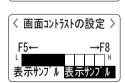
システムメニューから「1:システム」を選択します。 「4:コントラスト」を選択します。

画面コントラストを設定します。

- キーを押すと表示は一段階薄くなります。
- (季) キーを押すと表示は一段階濃くなります。
- ☞ キーを押して確定すると、前の画面に戻ります。

入力を中止して元の値に戻すには、ⓒキーを押します。

⟨システム設定⟩1:自動実行 5:ブザー2:沙リアル通信 6:スキャナ3:時計 7:レジューム4:コントラスト



4-5-5 ブザーおよびバイブレータの設定

キー操作や読取り確認の際に鳴るブザーを、バイブレータに設定したりブザーとバイブレータを両方使用するように設定することができます。

操作手順

システムメニューから「1:システム」を選択します。

「5:ブザー」を選択します。

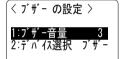
(システム設定 〉 1:自動実行 <mark>5:ブザー </mark> 2:シリアル通信 6:スキャナ 3:時計 7:レジューム 4:コントラスト

ブザー音量の調節

ブザーの音量を設定(8段階)します。

操作手順

「1:ブザー音量」を選択すると、ブザー音量を設定することができます。



ブザーの音量を設定します。

- キーを押すと1段階小さくなります。(最小値1)
- (最大値8) キーを押すと1段階大きくなります。(最大値8)
- (M) キーを押して設定を確定します。
- (バイブレータは無振動)になります。

入力を中止して元の値に戻すには、⑥キーを押します。





バイブレータはブザーの音量 (2~8) 設定に関らず、常に一定の振動をします。

デバイスの選択

操作手順

「2:デバイス選択」を選択すると、ブザーとバイブレータの動作を設定することができます。

〈 ブザ- の設定 〉

1:ブザー音量 3 2:デバイス選択 ブザー

「1:ブザー」="ピー"という音が鳴ります。

「2:バイブ」=本体が振動します。

「3:両方」= "ピー"という音と同時に本体が振動し

ます。

〈デバイス の選択〉 1:ブザ=

1:7 # = 2:バイブ 3:両方

4-5-6 スキャナの設定

アプリケーションプログラム実行時のレーザースキャナーの動作条件を設定します。

操作手順

システムメニューから「1:システム」を選択します。

「6:スキャナ」を選択します。

く システム設定 >

| 1:自動実行 5:ブザ-

2:シリアル通信 6:スキャナ

3:時計

4:コントラスト

トリガモードの設定

読取キーの動作を設定します。

操作手順

「1:トリガモード」を選択します。

〈スキャナの設定〉

< トリガモードの設定 > **1:**/ーマルトリガ

1:トリガモード 2:パワーセーブ

2:デコードトリカ

3:リリーストリカ

ノーマルトリガ

読取キーを押すとレーザーが点灯し、常に読取りができます。

デコードトリガ

読取キーを押すとレーザーが点滅します。

もう一度押すと点灯して読取りを開始します。

リリーストリガ

読取キーを押すとレーザーが点滅し、読取キーを離すと点灯して読取りを開始します。

レーザー照射時間の設定

トリガモードを設定した後、「レーザー照射時間」を設定します。

設定は秒単位で0~65536秒の範囲で数値を設定します。指定した時間内にバーコードが読取られない場合は、レーザーを消灯します。

0秒に設定した場合は、レーザーは点灯したままになります。

〈 レーザー照射時間 〉

「00020 秒]

パワーセーブモードの設定

読取り時のバッテリー消費を抑えるための設定をします。

操作手順

「2:パワーセーブ」を選択します。

〈スキャナの設定〉

1:トリガモード 2:パワーセーブ

セーブしない パワーセーブモードを使用しません。

く パワーセーブの設定 > **|1:セーブしない** |2:クイックセーブ |3:フルセーブ

クイックセーブ

バーコードの読取りに成功するとレーザーを自動的に消灯 します。ただしスキャナー部への電源の供給は行なわれているため、フルセーブに比べて次に読取りを開始する際の起動時間を短縮できます。

フルセーブ

バーコードの読取りに成功すると、スキャナー部への電源の供給を停止します。次に 読取りを開始する際の起動時間はクイックセーブに比べて長くなります。

4-5-7 レジュームモードの設定

レジューム機能の設定をします。

操作手順

システムメニューから「1:システム」を選択します。 「7:レジューム」を選択します。

くシステム設定〉

- 1:自動実行 5:ブザー
- 2:シリアル通信 6:スキャナ

7:レジューム

- 3:時計
- 4:コントラスト

レジューム ON

CTR-800-01 の電源を OFF にした後、次に® キーで起動すると、電源 OFF の直前に実行されていた処理から動作を再開します。

〈 レジュームモードの設定 〉 [1:0N 2:0FF

レジューム ON 設定で起動すると、右の画面が表示されます。 (読取キーを押しながら @ キーを押して起動すると、レジュームはキャンセルされ、再起動処理は最初から実行されます。)

レジューム起動中

レジューム ON 設定で電源 OFF 直前に、右の画面が表示されます。 (バッテリーカートリッジを外す場合は、右の画面が消えてから 3 秒程度時間を置いてから外してください。)

レジューム終了中



これらの画面表示中に絶対にバッテリーカートリッジを外さないでください。この時にバッテリーカートリッジを外すと起動できなくなる可能性があります。

レジューム OFF

CTR-800-01 の電源を OFF にした後、次に(m) キーで起動すると、常に処理が最初から実行されます。



レジューム機能は、②サーを使用した電源 OFF / ON のときに有効な機能です。動作中にバッテリーカートリッジを脱着すると、レジューム機能の設定に関らず再起動処理は最初から実行されます。また、電源 OFF の状態でバッテリーカートリッジを着脱した場合でも、DHCP 設定が「毎起同時に実行」である場合、再起動処理が最初から実行されます。

4-6 ネットワークメニュー

CTR-800-01 の無線通信および TCP/IP 通信に関する設定をします。

4-6-1 無線通信の設定

アクセスポイント(CTR-800-RL2)と無線通信をするための設定をします。

チャンネルの設定

アクセスポイントと無線通信を行なうためのドメインとチャンネルを設定をします。 操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択します。

< システム メニュー >

1:システム 4:ファイル
2:ヤットワーク 5:確認
3:端末 ID 6:テスト

「1:無線」を選択します。

〈ネットワーク 〉 ■無線■ 5: DNS 2: TCP/IP 6: SNMP 3: DHCP 7: MAC表示 4: FTP

「1:チャンネル設定」を選択します。

設定したい項目を選択して、®プキーを押すと数値を設定することができます。新しい値を設定したら、®グキーを押して変更内容を確定します。

セキュリティ ID を設定する場合は、③F キーを押すと 英字入力が可能です。

トリガキーを押すと、バーコード読取りによる設定も可能です。



〈 無線の設定 〉 1:チャンネル設定

ドメイン

ドメインとは、無線ネットワークの所属(ドメイン)を決定するグループ番号です。 CTR-800-01 は、同一のドメインが設定されたアクセスポイントにのみ同期します。 「00」~「15」の範囲で設定してください。また、複数台のアクセスポイントをローミング可能なネットワーク構成の場合、各アクセスポイントについて同一のドメインを設定し、CTR-800-01 も同じドメインを設定する必要があります。

チャンネル

チャンネルは、無線回線における仮想的な経路を分割するものです。「00」~「15」の範囲で設定してください。CTR-800-01 は自分と同じチャンネルのアクセスポイントにのみ同期します。チャンネルを「00」に設定した場合、全てのチャンネルに同期できます。ローミングを有効にする場合も、チャンネルを「00」に設定します。

サブチャンネル

サブチャンネルは、相互に電波が到達するエリア内で、有効チャンネル数 (15)を越える台数のアクセスポイントを設置する場合に、混信を防ぐための設定です。「00」~「15」の範囲で設定してください。CTR-800-01 は自分と同じサブチャンネルのアクセスポイントにのみ同期します。サブチャンネルを「00」に設定すると、全てのサブチャンネルに同期できます。ローミングを有効にする場合も、サブチャンネルを「00」に設定します。サブチャンネルは 1 つのチャンネルを分割して使用するため、データ転送効率は低下します。

セキュリティ ID

会社単位または部門単位などで、セキュリティを確保する場合に設定します。異なるセキュリティ ID を持つ機器間では無線通信を行なうことができません。セキュリティ ID は必ずアクセスポイントと同じ設定にして下さい。セキュリティ ID には、最大 20 文字の英数字が設定可能で、設定された ID はコード化されて約 1600 万種の ID として機能します。セキュリティ ID を設定した後で、設定内容を確認することはできません。セキュリティ ID 設定時に、何も入力せずにデキーを押すと出荷時設定に戻ります。

無線パラメータの設定

無線通信に関する設定をします。DHCP 機能 (P.4-20) を使用している場合、自動設定が可能です。

操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択しま す。

「1:無線」を選択します。

く ネットワーク > **1:無線** 5: DNS 2: TCP/IP 6: SNMP 3: DHCP 7: MAC表示 4: FTP

「2:無線パラメータ」を選択します。

〈 無線の設定 〉 1:チャンネル設定 2:無線パラメータ

ローミングレベル

端末が移動した際に電波がより強いアクセスポイントを自動的に選んで切り替える機能をローミングといいます。この切り替えを行なう判定値がローミングレベルです。

〈無線パラメータの設定〉 【:ローミングレベル FAST 2:省電力タイムアウト 10秒 3:送信方式 BFSK

設定可能値 FAST、NORMAL、SLOW FAST(ローミングし易い) NORMAL SLOW(ローミングしにくい)

省電力タイムアウト

送受信終了後に無線部が省電力モードに切り替わるまでの時間です。この時間が短い ほどパッテリの消費量が少なくなりますが、無線の応答性が若干低下します。 省電力モードから無線通信可能な状態に復帰するまでは最大で 1 秒程度時間がかかります。

設定可能値 ↓ すぐ、5 秒、10 秒、15 秒、20 秒、25 秒、30 秒、なし

送信方式

SS無線通信の動作条件を設定します。次のいずれかを選択できます。

BFSK	常に800Kbps で通信を行なうため、低速ですが安定した通信が可能です。
AUTO	電波環境に応じて、最高 1.6Mpbs までの通信が可能です。また、通信状況に応じて自動的に BFSK に切り替えて通信します。

AUTO から BFSK に切り替わるには時間がかかるので、周囲の環境が良好でない場合は、最初から BFSK に設定した方が高速に通信できる場合もあります。

4-6-2 TCP/IPの設定

IPアドレスなど TCP/IP 通信を設定します。DHCP 機能 (P.4-20)を使用している場合、 自動設定が可能です。

操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択します。

「2:TCP/IP」を選択します。

設定したい項目を選択して、 (®) キーを押すと数値を設定することができます。 ピリオドで区切られた 4 つのフィールドについての数値を設定します。

設定可能値 0~255

例)192.168.254.254

新しい値を設定したら 🚳 キーを押して、変更内容を確 定します。 〈ネットワーク 〉 1:無線 5:DNS **2:TCP/IP** 6:SNMP 3:DHCP 7:MAC表示 4:FTP

〈 TCP/IPの設定 〉

IP アドレス

ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスを設定します。同一のネット ワークに接続する全ての CTR-800-01 について、ユニークな IP アドレスを設定します。

サブネットマスク

ネットワーク管理者から割り当てられたサブネットマスクを設定します。サブネットマスクはネットワークの所属を特定するため IP アドレスとあわせて設定します。

ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。ルータを介して異なるネットワークに接続する場合に設定が必要です。



各項目の設定値については、ネットワーク管理者にお問い合せください。

「4-6-3 DHCP の設定」(P.4-20)で「3:毎起動時に実行」を選択した場合は、確認のみとなり、変更することはできなくなります。

4-6-3 DHCP の設定

TCP/IP と各種設定項目の自動設定に、DHCP クライアント機能を使用するかどうかを設定します。DHCP 機能を使用することで、各 CTR-800-01 に IP アドレスやサーバアドレス、プログラム / データファイルを自動的にダウンロードし、設定することが可能です。



DHCP 機能をご使用になる場合は、別途「WebGlider」が必要です。

操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択しま す。

「3:DHCP」を選択します。

く ネットワーク >

1:無線 5:DNS 2:TCP/IP 6:SNMP

4:FTP

7:MAC表示

DHCP を使わない

DHCP クライアント機能を使用せずに、全てのパラメータを端末ごとに個別に設定します。

〈DHCP設定〉 1:DHCPを使わない 2:今すぐに実行 3:毎起動時に実行

今すぐに実行

® キーを押すと DHCP リクエストを実行し、設定値やファイルを自動的にダウンロードします。 初回セットアップのみ自動で行ない、 運用中は特に変更を必要としない場合に選択します。

毎起動時に実行

CTR-800-01 の起動時に DHCP リクエストを実行し、設定値やファイルを自動的にダウンロードします。定期的にプログラムやデータファイル、アドレスの更新などを行なう場合に選択します。



「今すぐに実行」「毎起動時に実行」を選択する場合は、「WebGlider」の DHCPサーバが起動していることを確認してください。

DHCP 設定で「3:毎起動時に実行」を選択した場合は、「4-6-2 TCP/IP の設定」(P.4-19)で設定可能なパラメータを変更することはできなくなります。



DHCP による設定項目の詳細は、「WebGlider」のオンラインマニュアルを参照してください。

4-6-4 FTP の設定

FTP クライアント機能を利用するための設定をします。DHCP 機能 (P.4-20)を使用している場合、自動設定が可能です。

操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択しま す。

「4:FTP」を選択します。

〈 ネットワーク 〉 1:無線 5:DNS 2:TCP/IP 6:SNMP 3:DHCP 7:MAC表示

ホストアドレス

FTP サーバの IP アドレスを指定します。DHCP 機能(P.4-20)を使用している場合、自動設定が可能です。

〈 FTP設定 〉 1:ホストアドレス 2:ユーザ名 3:パスワード

ユーザ名

FTP サーバへのログインユーザ名を 18 文字までの英数字で指定します。

(§F) キーを押すと英文字入力が可能です。

パスワード

FTP サーバへのログインパスワードを 20 文字までの英数字で指定します。

(SF) キーを押すと英文字入力が可能です。

4-6-5 DNS の設定

DNSサーバのアドレスを設定します。

DHCP 機能 (P.4-20) を使用している場合、自動設定が可能です。

操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択します。

「5:DNS」を選択します。

く ネットワーク > 1:無線 5:DNS 2:TCP/IP 6:SNMP 3:DHCP 7:MAC表示 4:FTP

プライマリサーバとセカンダリサーバについて、それぞれ IP アドレスを設定します。

< DNS設定 > 1:プライマリ 2:セカンダリ

4-6-6 SNMP の設定

SNMP の各種設定をします。DHCP 機能 (P.4-20) を使用している場合、自動設定が可能です。

操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択しま す。

「6:SNMP」を選択します。

〈 ネットワーク 〉 1:無線 5:DNS 2:TCP/IP 3:DHCP 7:MAC表示 4:FTP

コミュニティ (R/Only)の設定

操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択します。

「6:SNMP」を選択します。

「1:コミュニティ (R/Only)」を選択します。

1:3\$1=74 (R/Only) 2:3\$1=74 (R/W) 3:Trap

< SNMP設定 >

SNMP コミュニティR/0設定> | :コミュニティ名 2:マネージャ | P7ト レス

コミュニティ名

このコミュニティ名によって許可される動作は、"Read-Only"(読取り専用)です。GET、GET-NEXT リクエストは、このコミュニティ名の中でサポートされます。

このコミュニティ名で SET リクエストされた場合、authentication trap を送信します。

コミュニティ名は最大16文字までの英数字で指定します。

マネージャ IP アドレス

[コミュニティ名]で設定したコミュニティ名の、使用を許可する SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。

「000.000.000.000」の IP アドレスを設定した場合、全ての SNMP マネージャ上でこのコミュニティ名の使用を許可します。

コミュニティ(R/W) の設定

操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択します。

「6:SNMP」を選択します。

「2:コミュニティ(R/W)」を選択します。

< SNMP設定 >
1:コミュニティ(R/Only)
2:コミュニティ(R/W)
3:Tran

コミュニティ名

このコミュニティ名によって許可される動作は"Read-Write"(読み書き)です。GET、GET-NEXT、SET リクエストは、このコミュニティ名の中でサポートされます。コミュニティ名は最大16文字までの英数字で指定します。

〈SNMP コミュニティR/W設定〉 【:コミュニティ名 2:マネージ・ャ | P7ト * レス

マネージャ IP アドレス

[コミュニティ名]で設定したコミュニティ名の、使用を許可する SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。

「000.000.000.000」の IP アドレスを設定した場合、全ての SNMP マネージャ上でこのコミュニティ名の使用を許可します。

Trap の設定

操作手順`

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択します。

「6:SNMP」を選択します。

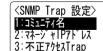
「3:Trap」を選択します。

コミュニティ名

Trap 用のコミュニティ名を設定します。

コミュニティ名は最大 16 文字までの英数字で指定します。

SNMP設定 > 1:コミュニティ(R/Only) 2:コミュニティ(R/W) 3:Trap



マネージャ IP アドレス

Trap の送信先である SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。

「000.000.000.000」の IP アドレスを設定した場合、Trap を送信しません。

不正アクセス Trap

「1:コミュニティ (R/Only)」「2:コミュニティ (R/W)」で設定したコミュニティ 名およびマネージャ IP アドレス以外からのアクセスを認識したときに authentication trapを「送信する」または「送信しない」を設定します。

この Trap は、「2:マネージャ IP アドレス」で設定された SNMP マネージャに送信されます。

SNMP について

- ・CTR-800-01 は弊社製「WebGlider」(WBG-800-01)を使用して管理することができます。
- ・SNMP-PDU (Protcol Data Unit)はSNMPv1に準拠しています。
- ・CTR-800-01 は次の各種 MIB グループのオブジェクトを管理しています。ただし CTR-800-01 の機能的に、次のグループでも未サポートのオブジェクトがあります。

[1.3.6.1.2.1.1]	MIB2-System
[1.3.6.1.2.1.2]	MIB2-Interfaces
[1.3.6.1.2.1.4]	MIB2-IP 1
[1.3.6.1.2.1.5]	MIB2-ICMP 1
[1.3.6.1.2.1.6]	MIB2-TCP
[1.3.6.1.2.1.7]	MIB2-UDP
[1.3.6.1.2.1.11]	MIB2-SNMP 1
[1.3.6.1.4.1.12392]	Welcat Enterprise MIB

1 CTR-800-01 の機能上、未サポートのオブジェクトがあります。

Welcat Enterprise MIB は、ASN.1 フォーマットで記述されています。

Welcat Enterprise MIB は、別売り「WebGlider」に同梱されています。(詳細は、弊社営業部までお問い合わせください。)

サポートするトラップ

Cold Start	MIB がイニシャライズされた後の通信開始時に送信します。MIB がイニシャライズされるのは (30) キーON の時です。ただし、レジューム復帰の時 MIB はイニシャライズされません。
Warm Start	Cold Start 以外の通信開始時に送信します。 2
Link up	CTR-800-01 がアクセスポイントに同期したときに送信されます。ただし、最初にアクセスポイントと同期した時 (ColdStart、Warm Start を送信する時)は、Link up を送信しません。また、CTR-800-01 がアクセスポイントの通信圏外から圏内に入り同期したとき、あるいはローミングによって新たなアクセスポイントに同期したときに送信します。 (シグナル SIGRFU_INSYNC と同じタイミング。)
Link down	通信終了時に送信します。ただし、圏外にいる時は送 信しません。
Authorization	何者かが無効なコミュニティで CTR - 800 - 01 にアクセスを試みたときに、システムメニューの < Trap-マネージャ IP アドレス (P.4-23) > で設定した IP アドレスにこのトラップを送信します。ただし、システムメニューの < Trap-不正アクセス Trap (P.4-24) > で「送信する」を設定した時のみ送信します。

2 「CTR-800-01」は MIB に該当する設定 (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ等)を変更しても MIB はイニシャライズされません。よって Cold Start ではなく Warm Start が送信されます。

MIBをイニシャライズする場合はレジュームを解除して再度 ® キーON してください。

4-6-7 MAC アドレスの表示

CTR-800-01 の MAC アドレス (ハードウェア固有アドレス) を表示します。 このアドレスは変更できません。

操作手順

システムメニューから「2:ネットワーク」を選択します。

「7:MAC 表示」を選択します。

(〈ネットワーク 〉 1:無線 5:DNS 2:TCP/IP 6:SNMP 3:DHCP 7:MAC表示 4:FTP

〈 MAC7ドレス表示 〉

[0020A6329154]

4-7 端末ID設定メニュー

CTR-800-01 の端末 ID を設定します。端末 ID は、無線ネットワーク通信および「Welfer」を使ったシリアル通信の両方において各端末毎にユニークな番号を設定してください。DHCP 機能 (P.4-20)を使用している場合、自動設定が可能です。

操作手順

システムメニューから「1:端末 ID」を選択します。

< システム メニュー >

1:システム 4:ファイル 2:ネットワーク 5:確認 8:端末1D 6:テスト

3桁の任意の ID 番号を設定します。

設定可能値 000~999

〈端末IDの設定〉

端末ID: 999

©, © 17.12(1-3), 7 (

新しい値を設定したら働きーを押して、変更内容を確定します。



シリアル通信で「Welfer for Windows」を使用する場合、認識するのは端末 ID の下 2 桁までです。"910"も"010"も同じ ID"10"として認識されますのでご注意ください。

4-8 ファイルメニュー

ファイルの実行、送受信、情報表示などファイル操作を行ないます。

4-8-1 アプリケーションの起動

システムメニューの実行中に、任意のアプリケーションを起動することができます。

操作手順

システムメニューから「4:ファイル」を選択します。 「1:実行」を選択します。

< システム メニュー >

1: システム

2:ネットワーク <u>5:確認</u> 3:端末ID 6:テスト

4:ファイル

実行するアプリケーション選択すると、アプリケーションを起動します。

〈ファイル 操作〉 ■実行 5:テスト 2:送信 6:情報 3:受信 7:ドライブ 4:削除 8:フォント

< アプリケーションの選択 > F:WEB800S.OUT 200K

アプリケーションが起動される前に、ファイル システムがファイルの再配置を行なう場合があ ります。



スティルの再配置には、数秒から数分かかる場合もありますが、この間は絶対にバッテリーカートリッジを外さないでください。このときにバッテリーカートリッジを外すと、ドライブ内のすべてのデータが壊れます。

〈 ファイルの再配置中 〉 アプリケーションの起動準備 をしています。 絶対に電池を取り外さ ないでください。

4-8-2 ファイルの送信

無線通信による送信の場合

CTR-800-01 からアクセスポイントを介してホストコンピュータへファイルを送信します。通信は FTP プロトコルを使用して行なわれます。

ファイルの送信を行なう前に、次の事項を確認してください。

- ・無線通信パラメータ (P.4-18) は正しく設定されているか
- ・ アクセスポイントとホストコンピュータは正しく設定、接続されているか
- ・ FTP の設定 (P.4-21) は正しく設定されているか
- ・ アクセスポイントとホストコンピュータの電源は入っているか
- アクセスポイントは正常に動作しているか
- ・ ホストコンピュータで FTP サーバは起動しているか



無線ネットワークの構成に関する詳細は、SS 無線アクセスポイント(CTR-800-RL2)付属のマニュアルをご覧ください。

操作手順

CTR-800-01 の電源を ON にして、システムメニューから

「4:ファイル」を選択します。

「2:送信」を選択します。

ファイル送信方法で、「1:無線通信」を選択します。

くファル 操作 > 1:実行 5:テスト 2:送信 6:情報 3:受信 7:ドライブ 4:削除 8:フォント

〈 ファイル送信方法 〉 1:無線通信 2: IrDA

3:RS232C

送信するファイルを選択して、ファイルを送信します。

送信ファイルの選択 >S:SAMPLEOT. DAT 10KS:SAMPLEO2. DAT 15KS:SAMPLEO3. DAT 25K

送信完了を表わす画面が CTR-800-01 に表示されたら、 ② キーを押して前の画面に戻ります。

〈 ファイルの送信 〉

S:SAMPLEO1. DAT

送信完了

シリアル通信による送信の場合

「Welfer for Windows」(P.4-50)を使用して、CTR-800-01 からホストコンピュータへファイルを送信します。

操作手順

「Welfer for Windows」がインストールされているホストコンピュータを起動 します。

光通信ユニット (HIF-51)を HIF-51 PC 接続用ケーブル (WRS-AXC003A)でホストコンピュータと接続 (P.6-1) した後、光通信ユニットの電源を ON にします。 CTR-800-01 とホストコンピュータを直接接続する場合は、PC 接続用ケーブル (HOP-C031)で接続します。

ホストコンピュータの「Welfer for Windows」を起動します。

CTR-800-01 の電源を ON にして、システムメニューから「4:ファイル」を選択します。

「2:送信」を選択します。

ファイル送信方法を選択します。光通信ユニットを使用して、赤外線通信を行なう場合は、「2: IrDA」を選択。PC 接続用ケーブルで CTR-800-01 とホストコンピュータを直接接続している場合は、「3: RS232C」を選択します。送信するファイルを選択して、ファイルを送信します。

〈ファイル 操作 〉 1:実行 5:テスト **2:送信** 6:情報 3:受信 7:ドライブ 4:削除 8:フォント

〈 ファイル送信方法 〉 1:無線通信

2:|rDA

〈 送信ファイルの選択 〉 S:SAMPLEO1.DAT 10K S:SAMPLEO2.DAT 15K

S:SAMPLF03.DAT 25K

送信完了を表わす画面が CTR-800-01 に表示されたら、 ② キーを押して前の画面に戻ります。

〈 ファイルの送信 〉

S:SAMPLEO1. DAT

送信完了



- ・光通信ユニット (HIF-51) を使用してファイルの送受信を行なう場合、 通信中に CTR-800-01 を光通信ユニットから外さないでください。
- ・シリアル通信で「Welfer for Windows」を使用する場合、端末 ID の下2 桁のみが認識されます。

4-8-3 ファイルの受信

無線诵信による受信の場合

ホストコンピュータから送信するファイルをアクセスポイントを介して CTR-800-01 で受信します。通信は FTP プロトコルを使用して行なわれます。

ファイルの受信を行なう前に、次の事項を確認してください。

- ・ 無線通信パラメータ (P.4-18) は正しく設定されているか
- ・アクセスポイントとホストコンピュータは正しく設定、接続されているか
- FTP の設定(P.4-21)は正しく設定されているか
- アクセスポイントとホストコンピュータの電源は入っているか
- ・ アクセスポイントは正常に動作しているか
- ホストコンピュータで FTP サーバは起動しているか



無線ネットワークの構成に関する詳細は、SS 無線アクセスポイント (CTR-800-RL2)付属のマニュアルをご覧ください。

操作手順

CTR-800-01 の電源を ON にして、システムメニューから

「4:ファイル」を選択します。

「3:受信」を選択します。

ファイル受信方法で、「1:無線通信」を選択します。

2:送信 6:情報

く ファイル 操作 > 1:実行

7:1, 517 8:フォント

〈 ファイル受信方法 〉

 無線通信 2: IrDA 3: RS232C

ファイルの格納先を選択すると、自動的に FTP サーバよ り、ファイルリストを取得します。

< ファイル格納先の選択 >

1: ドライブS(データ) 2: h j/7j F (77 J/724)

受信するファイルを選択し、Ѿキーを押してダウン ロードを開始します。

末尾に「<DIR>」が付いているものはディレクトリです。 ディレクトリを選択すると、そのディレクトリに移動し て新たにファイルリストを取得します。

〈 受信ファイルの選択 〉 ..<DIR>

sample, dat sample2 dat

sample3.dat

受信完了を表わす画面が CTR-800-01 に表示されたら、 (©) キーを押して前の画面に戻ります。

〈 ファイルの受信 〉 sample.dat

完了しました



ロングファイルネーム(8.3 形式以外)、もしくは日本語(全角文字、カナ文字)のファイルネームを持つファイルは受信できません。これらのファイルはファイルリストに表示されません。

シリアル通信による受信の場合

「Welfer for Windows」(P.4-50)を使用して、ホストコンピュータから送信するファイルを CTR-800-01 で受信します。

操作手順

「Welfer for Windows」がインストールされているホストコンピュータを起動 します。

光通信ユニット (HIF-51) を HIF-51 PC 接続用ケーブル (WRS-AXC003A) でホストコンピュータと接続 (P.6-1) した後、光通信ユニットの電源を ON にします。 CTR-800-01 とホストコンピュータを直接接続する場合は、PC 接続用ケーブル (HOP-C031) で接続します。

ホストコンピュータの「Welfer for Windows」を起動すると、右の画面を表示します。画面下の[ダウンロード]ボタンを押します。または、タスクバーのアイコンを右クリックして[ダウンロード]を選択します。



表示されたウィンドウの [参照] ボタン を押して、送信するファイルを選択しま す。



の画面で、ファイル送信先の CTR-800-01 の端末 ID の下 2 桁を入力します。



シリアル通信で「Welfer for Windows」を使用する場合、端末 ID の下 2 桁のみが認識されます。



光通信ユニット(HIF-51)をデイジーチェーン接続で使用しており、1つのファイルを複数の端末に一度に送信(同報送信)(P.6-6)する場合は、端末 ID に**を入力します。

CTR-800-01 の電源を ON にして、システムメニューから「4:ファイル」を選択します。

「3:受信」を選択します。

ファイル受信方法を選択します。光通信ユニットを使用して、赤外線通信を行なう場合は、「2: IrDA」を選択。PC接続用ケーブルでCTR-800-01とホストコンピュータを直接接続している場合は「3: RS232C」を選択します。ファイルの格納先を選択すると、受信待ちの状態になります。

ホストコンピュータ側で表示されている、前ページの画面の[開始]ボタンを押して、ダウンロードを開始します。

受信完了を表わす画面が CTR-800-01 に表示されたら、 ② キーを押して前の画面に戻ります。 く ファイル 操作 > 1:実行 5:テスト 2:送信 6:情報

3:受信 7:ドライブ 4:削除 8:フォント

< 77 (N受信方法 > 1:無線通信

2:1rDA 3:RS2320

〈 ファイル格納先の選択 〉

1 : ドライブS (データ) 2 : ドライブF (アブリ/マスター)

〈 ファイルの受信 〉

0001000 /0001000

完了しました



光通信ユニット (HIF-51) を使用してファイルの送受信を行なう場合、通信中に CTR-800-01 を光通信ユニットから外さないでください。



「Welfer for Windows」の通信設定は、ソフトウェア付属のマニュアルをご覧ください。

4-8-4 ファイルの削除

不要なファイルを削除します。

操作手順

システムメニューから「4:ファイル」を選択します。

「4:削除」を選択します。

く ファイル 操作 > 1: 実行 5: 7 7 h 2:送信 6:情報 3:受信 7:1, 517 8:フォント

削除するファイルを選択します。

「1:削除」を選択して、ファイルを削除します。中止 する場合は「2:キャンセル」を選択します。



4-8-5 ファイルのテスト

格納されているファイルが壊れていないかどうかのテストを行ないます。メニューを 選択すると、ドライブSに格納されているファイルに対して、自動的にテストが行な われます。

操作手順

システムメニューから「4:ファイル」を選択します。 「5:テスト」を選択して、ファイルのテストを開始し ます。

テストが完了すると、右のメッセージ画面 1 を表示し ます。

ファイルが壊れていた場合は、テストの途中でメッ セージ画面2のようなメッセージを表示します。 壊れたファイルをそのまま使用すると、アプリケー ションの暴走を招く恐れがあります。これが重要な ファイルでないのなら、
の
キーを押してファイルを削 除してください。

壊れているファイルは、 削除するかホストコンピュー タへ送信して、内容を復旧するなどの措置をとってく ださい。

く ファイル 操作 > 1: 実行

2:送信 3:受信 4: 削除

5:テスト 6:情報 7:1,5/7, 8:フォント

< 77/Nのテスト >

テスト 完了 ファイルは全て正常です

メッセージ画面 1

ファイルのテスト > S:FILE2. DAT ファイルが壊れています! 團:削除

①:無視

ⓒ: 放置

メッセージ画面 2

画面	操作キー	処理
丁 :無視	読取キー	このファイルは(内容が異常であっても)正常なファイルとして、テスト処理を続行します。再度、テスト行なってもメッセージ画面 2 は表示されません。
C :放置	© + -	何も処理をしません。OS は次の起動時やファイルテスト時などに再度ユーザに選択を求めます。
EN _T :削除	ENT +-	ファイルを削除します。エラー表示されたファイルが重要なファイルでない場合は、可能な限り削除をおすすめします。

4-8-6 ファイル情報

ファイルの情報を表示します。ここで取得できる情報は次のとおりです。

- ・ファイルの名前
- ・ファイルの種類
- ・ファイルのサイズ
- ・ファイルの最終更新日時(年月日時分秒)

操作手順

システムメニューから「4:ファイル」を選択します。

「6:情報」を選択します。

〈 ファイル 操作 〉

1:実行 5:テスト 2:送信 6:情報 3:受信 7:ドライブ

4:削除 8:フォント

ファイルを選択します。

くファイルの選択 〉 S:SAMPLE01.DAT 10K S:SAMPLE02.DAT 15K

S:SAMPLE03. DAT 20K

ファイルの情報を表示します。 ⓒ キーを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

S:SAMPLE01. DATの情報

種類: データ サイズ: 10240 Byte 日付: 2002/04/01 04:15:24

4-8-7 ドライブ情報

ドライブの情報を表示します。ここで取得できる情報は次のとおりです。

- ・ドライブの名前
- ・ドライブの全容量
- ・ドライブの空き容量
- ・現在格納されているファイル数と残りのファイル作成可能な数

操作手順

システムメニューから「4:ファイル」を選択します。 「7:ドライブ」を選択します。

く ファイル 操作 > 1:実行 5:テスト 2:送信 6:情報

3:受信 4:削除 8:7ォント

情報を表示するドライブを選択します。

〈 ドライブの選択 〉

ドライブの情報を表示します。 ⓒ キーを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

「くドライブ情報 >

ドライブF

全容量: 1310720byte 空容量: 1048576byte ファイル数:5個 残り:15

4-8-8 フォントの変更

フォントファイルがインストールされている場合、アプリケーションで使用するフォントを変更することができます。



システムメニューで使用するフォントは変更できません。デフォルトゴシック (12 ドット表示) のみ使用できます。

操作手順

システムメニューから「4:ファイル」を選択します。 「8:フォント」を選択します。

最下行には、現在設定されているフォント名を表示します。「1:デフォルトゴシック」はシステムメニューで 使用されているフォントです。

フォントを変更する場合は、「2:追加フォント」を選択して、フォントファイルの一覧を表示します。例えば、CTR-800-01 用機種別ライブラリ(HAP-LIB-81 別売り)に付属している16 ドットゴシックフォントをロードすると、16 ドットのフォント表示が可能です。

く ファイル 操作 〉 1:実行 5:テスト

2:送信 6:情報

3:受信 7:ドライブ 4:削除 8:フォント



[デフォルトゴシック]

追加フォントを使用する場合、アプリケーションがそのフォントに対応している必要があります。アプリケーションが対応していないフォントを選択した場合、アプリケーションを実行できなかったり、画面表示が乱れたりすることがあります。

フォントファイルの拡張子は「FNV」です。



出荷時の状態では、フォントファイル (~ .FNV) は格納されていません。 CTR-800-01 用機種別ライブラリ (HAP-LIB-81 別売り) に付属している 16 ドットゴシックフォントなどを別途ドライブ F にダウンロードした上で、フォントの変更を行なってください。

4-9 確認メニュー

CTR-800-01 の情報確認を行ないます。

操作手順

システムメニューから「5:確認」を選択します。

< システム メニュー >

1:システム 4:ファイル 2:ネットワーク **5:確認**

3:端末ID 6:テスト

4-9-1 電池電圧

CTR-800-01 に装着されているバッテリーカートリッジの電圧を表示します。

操作手順

システムメニューから「5:確認」を選択します。

「1:電池電圧」を選択します。

〈 確認 〉 【:電池電圧

2:0Sバージョン 3:時計

バッテリーカートリッジの電圧をインジケータ表示します。 ② キーを押すと、1 つ前の画面に戻ります。







この表示は、正確な電池残量ではありません。電池残量の目安として使用してください。

4-9-2 OS バージョン

CTR-800-01 に搭載されているシステムプログラム (OS) のバージョン情報を表示します。

操作手順

システムメニューから「5:確認」を選択します。

「2:0S バージョン」を選択します。

〈確認〉 1:電池電圧 2:0Sバージョン 3:時計

バージョンを表示します。 ⓒ キーを押すと、1 つ前の 画面に戻ります。 「くバージョンの確認>

OS : V1.00

4-9-3 時計

「4-5-3 時計の設定」(P.4-9)で設定した時刻を表示します。

操作手順

システムメニューから「3:確認」を選択します。

「3:時計」を選択します。

〈確認〉 1:電池電圧 2:0Sバージョン **3:時計**

現在の時刻を表示します。

〈 ただいまの時刻 〉

2002 / 04 / 01 02 : 35 : 47

4-10 テストメニュー

CTR-800-01 の基本的な機能についてテストを行ないます。

操作手順

システムメニューから「6:テスト」を選択します。

< システム メニュー >

1:システム 4:ファイル 2:ネットワーク 5:確認 3:端末ID 6:テスト

4-10-1 無線のテスト

無線通信に関するテストを行ないます。

通信テスト

アクセスポイントとテストパケットの送受信を行ない、通信状態を確認します。

操作手順

システムメニューから「6:テスト」を選択します。

「1:無線」を選択します。

く 元 ト 〉 1: 無線 5: 確認 2: シリアル通信 6: ping 3: パ-コート。 4: 画面表示

「1:通信テスト」を選択します。

〈無線のテスト〉 1:通信テスト 2:AP検索 3:電波環境

無線通信テストの画面を表示します。インジケータはアクセスポイントから受信した電波の強さを表わします。
(M) キーを押す度に、テスト(アクセスポイントとの間でテストパケットとの送受信)を行ないます。

ⓒ キーを押すと、1つ前の画面に戻ります。





この表示は、電波の強さを正確に表示したものではありません。電波状態の目安として使用してください。

〈 通信テスト 〉■で実行 - テストOK H MAC [0020A630F71A] DM:05 CH: 7 SCH: 7 通信成功時は、相手先アクセスポイントのマスタ名(Name)、ドメイン(DM)、チャンネル(CH)、サブチャンネル(SCH)を表示します。マスタ名表示の部分は、読取キーを押すと MAC アドレス表示(MAC)に切り替わります。再度読取キーを押すとマスタ名表示に戻ります。

アクセスポイントの検索

同じドメインを持ち、通信可能な状態にあるアクセスポイントを検索して、一覧表示します。一覧表示されたアクセスポイントを個別に指定してダイレクトリンクテストを実行することができます。

操作手順

システムメニューから「6:テスト」を選択します。

「1:無線」を選択します。

〈 テスト 〉 ■:無線 5:確認 2:シリアル通信 6:ping 3:バ-コード 4:画面表示

「2: AP 検索」を選択します。

< 無線のテスト > 1:通信テスト 2:AP検索 3:電波環境

アクセスポイントの検索を開始します。ローミング設定の有無に関わらず、ドメインの一致するアクセスポイントを検索し、マスタ名、チャンネル、サブチャンネルを画面に一覧表示します。

マスタ名 チャンネル / サブチャンネル

マスタ名表示の部分は、読取キーを押すと MAC アドレス 表示に切り替わります。もう一度読取キーを押すとマス タ名表示に戻ります。

© キーを押すと、アクセスポイントの検索を中止して、 選択できるようになります。

〈 APの検索 〉 0020A630F71A 02/01 0020A630F725 03/01 0020A630F749 04/01 検出されたアクセスポイントをカーソルで選択し、®が キーを押すとダイレクトリンクの画面を表示します。

〈 APの検索 〉	
master1	02/01
master2	03/01
master3	04/01

ダイレクトリンクでは、 の画面で選択されたアクセスポイントに接続し、ⓒ キーが押されるまで連続してテストパケットの送受信を行ないます。インジケータはアクセスポイントから受信した電波の強さを表わします。アクセスポイントとの通信成功時は"ピッ"という高い



ブザー音が鳴ります。失敗時には"ブッ"という低いブザー音が鳴ります。



この表示は、電波の強さを正確に表示したものではありません。電波状態の目安として使用してください。

雷波環境の表示

CTR-800-01 の使用環境における電波強度を表示します。

無線通信で使用する周波数範囲(2.471GHz~2.497GHz)を 1MHz 単位でスキャンし、電波強度をグラフ形式で画面に表示します。

操作手順

システムメニューから「6:テスト」を選択します。

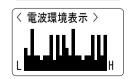
「1:無線」を選択します。

〈 元ト 〉 | 無線 5: キー入力 2: シリアル通信 6: ping 3: パ-コート゚ 4: 画面表示

「3:電波環境」を選択します。

〈 無線のテスト 〉 1:通信テスト 2:AP検索 3:電波環境

低い周波数から高い周波数に向かって電波強度を順次スキャンし、1MHz 当り横 4 ドット、縦 48 ドットの棒グラフで表示します。



© キーを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

4-10-2 シリアル通信のテスト

CTR-800-01 のシリアル通信のテストを行ないます。

テストの実行には、データ通信の準備が必要です。「1-4 データ通信の準備」(P.1-9) または、「4-5-2 シリアル通信の設定」(P.4-8)をご覧ください。

操作手順

ホストコンピュータと CTR-800-01 を PC 接続用ケーブル (HOP-C031) で接続します。

ホストコンピュータ側で通信ソフト(ハイパーターミナル等)を起動します。通信ソフトの設定は、 CTR-800-01 の通信設定と同じ設定にします。

システムメニューから「6:テスト」を選択します。

「2:シリアル通信」を選択します。

シリアル通信では、ループバックテストを行ないます。ホストコンピュータのキーボードで任意のキーを入力すると、CTR-800-01の画面に同じ文字を表示します。このとき、通信ソフト側で"ローカルエコー"の設定がされていると、キーボードで入力したキー

(元ト) 1:無線 5:キ入力 22ツアル通信 6:ping 3:ハーコート 4:画面表示

く シリアル通信のテスト > abcdefg

通信ソフトの画面例

>aabbccddeeffgg

がホストコンピュータ上でも確認できます。また、CTR-800-01 と直接 PC 接続用ケーブル (HOP-C031) で接続している場合は、ホストコンピュータの画面に同じ文字を 2 つずつ表示します。

② キーを押すと、テスト前の画面に戻ります。

4-10-3 バーコード読取のテスト

バーコードの読取りテストを行ないます。サンプルのバーコードは、「サンプルバーコード」(付録 B-2)に掲載されています。

操作手順

システムメニューから「6:テスト」を選択します。 「3:バーコード」を選択します。

〈 テスト〉 1:無線 5:キー入力 2:シリアル通信 6:ping **8:パーコード** 4:画面表示

読取キーを押してバーコードを読取ります。読取った結果を、右の画面の様に表示します。

読取ったバーコードを、2 行目に表示します。最下行には読取ったバーコードの種類と桁数を表示します。読取 キーを押し続けると、約1秒後に連続読取モードになり く バーコード テスト > 4994121104579

JAN13 13桁 100%

ます。読取キーを放すまでの間、バーコードの読取りを続け、画面右下に読取り 成功率を表示します。

トリガモードとパワーセーブモードの設定は影響しません。

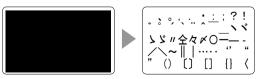
4-10-4 画面表示のテスト

画面表示のテストを行ないます。

操作手順

「システムメニューから「6:テスト」を選択します。 「4:画面表示」を選択します。 〈 テスト 〉 1:無線 5:キー入力 2:シリアル通信 6:ping 3:パーコート 4:画面表示

バックライトが点灯して、画面全体が塗りつぶされます。何かキーを押すと次々と文字を表示します。読取キーを押すと、表示されている画面のままテストを一時停止し、もう一度押すと再開します。 © キーを押すと、テストを中断してテスト前の画面に戻ります。



こごさざしじすずせぜ そぞただちぢっつづて でとどなにぬれのはば ぱひびぴふぶぷへべぺ ほぼぽまみむめもゃや

4-10-5 キー入力のテスト

キー入力のテストを行ないます。同時に、ブザー、バイブレーション、LED の点灯テストを行ないます。

操作手順

システムメニューから「6:テスト」を選択します。 「5:キー入力」を選択します。

く テスト 〉 1:無線 <u>5:キー入力</u> 2:シリアル通信 6:ping 3:バーコード 4:画面表示

テスト画面になります。何かキーを押すと、押したキーのマークを画面に表示します。 ③ キーを押しながら何かキーを押すと、マークを反転表示します。また、どのキーを押してもブザーとバイブレーションが強制的にテストされます。

テスト中は(m)を押しても電源を切ることはできません。 ② を押すと、テスト前の画面に戻ります。

入力されるキーに応じて、LED の点灯テストも行ないます。それぞれのキー入力に対する LED 表示については、次の表をご覧ください。

キー	読取 LED 発光色	警告 LED 発光色
PW BS SF ENT 読取キー	オレンジ	赤
∅ ~ ⑨ ⊙	緑	
(F1) ~ (F8)	赤	

4-10-6 ping テスト

ping コマンドを実行し、IP ネットワークの疎通をテストします。

/ 操作手順`

システムメニューから「6:テスト」を選択します。 「6:ping」を選択します。

1:無線 2:シリアル通信

5:キ-入力 6:ping

3:1, -1-1 4:画面表示

< ping > 1:条件設定

ping 条件の設定

ping コマンドの実行条件を設定します。

/ 操作手順 *`*

システムメニューから「6:テスト」を選択します。

「6:ping」を選択します。

「1:条件設定」を選択します。

2:ping実行

ホストアドレス

通信を確認する相手機器の IP アドレスを指定します。

パケットサイズ (デフォルト 32 バイト) 送信するデータパケットのサイズ (バイト)を選択します。

設定可能値 32、64、128、256、512、1024

タイムアウト時間 (デフォルト1秒) タイムアウト時間を1秒単位で設定します。

設定可能値 1~255秒

試行回数(デフォルト4回) ping の送信回数を設定します。

設定可能値 0~255回

0を指定すると、②キーが押されるまで ping の送信を実行します。

〈 ping条件設定 〉 1:ホストアドレス

2: n° ケットサイス 3:タイムアウト時間 4:試行回数

ping の実行

設定条件に従って ping コマンドを実行します。

操作手順

システムメニューから「6:テスト」を選択します。

「6:ping」を選択します。

「2:ping 実行」を選択します。

- ・パケットの送受信毎に、応答を受け取るまでのターンア ラウンドタイムを表示します。
- ・時間内に応答が返送されなかった場合は、"Timeout"が 表示されます。
- ・試行回数に 0 が指定されている場合は、ping の実行を繰り返します。中止する場合は、 © キーを押してください。

〈 ping 〉 1:条件設定 2:ping実行

〈pingの実行〉 32B time〈Timeout

32B time<40ms

32B time<40ms

32B time<50ms

4-11 その他の機能

4-11-1 低電圧警告

装着されているバッテリーカートリッジの残量が少なくなってくると、システムメニューでは次の操作が行なえなくなります。

- ・アプリケーションの起動
- ・ファイルの送受信と削除、テスト
- ・時計の設定

バッテリーカートリッジの残量が少なくなっているときに上記の操作を行なうと、右のような画面を表示します。このとき、画面 2 行目に [ローバッテリー]と表示して、"ピー、ピー、ピー"と警告音を 3 回鳴らします。

〈ファイル 操作 〉 [ローバッテリー] 電池が残り少ないため 指定された操作を行う ことができません。

バッテリーカートリッジの残量が少なくなっても、上記以外のシステムメニューの操作は行なえます。 さらに、電圧が規定値を下回ると、"ピピピピピピル"と

さらに、電圧が規定値を下回ると、"ピピピピピピル"と 警告音を鳴らしながら、右の画面のメッセージを 5 秒間表示した後、自動的に電源が切れます。 [ローハ゛ッテリー]

充電してください!

4-11-2 オートパワーオフ

システムメニューでは、約10分間一切のキー操作が行なわれないと自動的に電源が切れます。



アプリケーションにもこの機能が搭載されている場合があります。詳しく はそれぞれのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

4-12 CTR-800-01の初期化

CTR-800-01 を使用中に、何らかの原因でシステムの記憶領域の内容に障害が発生し、正常に動作しない場合があります。システムメニューでは、それらのほとんどの異常を自動的に修正しますが、重大な障害は正しく修正できないことがあります。

このような場合は、次の方法で内部記憶を消去し、出荷時の状態に戻すことができます。



システムメニューの出荷時設定については、「付録 A システムメニュー 出荷時設定」(付録 A-2)を参照してください。



これらの操作は、CTR-800-01 に保存されているシステムメニューの設定またはデータやプログラムを消去します。十分注意してから実行してください。また、これらの操作を行なう場合は、必ずレジュームモードを OFF にして行ってください。

システムメニューの初期化

操作手順

CTR-800-01 の雷源を OFF にします。

読取キー、

③ キー、

③ キーの3つのキーを同時に押しながら

② キーを押すと、
システムメニューの内容が初期化されて、システムメニューを再起動します。

この操作によって、システムメニュー中の設定の内容を全て初期化します。保存されているファイルが消去されることはありません。

すべての初期化

この操作では、システムプログラムを除くすべてのファイル、アプリケーションが削除されます。CTR-800-01 ご購入時に搭載されている、「CTR-800 用ブラウザ」も削除されます。初期化の前にバックアップを取るなどして、十分注意して実行してください。



すべての初期化を行なう前に、必ず十分に充電されたバッテリーカートリッジを用意してください。また、途中でバッテリーカートリッジを取り外さないでください。すべての初期化には数分から 10 分程度かかります。この間は一切のキー入力はできません。途中でバッテリーカートリッジが消耗したり、バッテリーカートリッジを取り外すと初期化が完全に行なわれずに CTR-800-01 内のデータ領域に障害が発生することがあります。

操作手順

CTR-800-01 の電源を OFF にします。

⑤ キー、⑥ キー、⑥ キーの 3 つのキーを同時に押しながら № キーを押すと、確認メッセージを表示した後に CTR-800-01 を初期化します。

保守に際してのご注意



CTR-800-01 の修理・点検の際には、すべての初期化を行ないますので、あらかじめご了承願います。「CTR-800 用ブラウザ」については再インストールしてご返却いたしますが、お客様で作成されたファイルは再インストールできませんので、ご注意ください。お客様で作成されたファイルはバックアップを取っておくことをおすすめします。

4-13 「WelferⅡ for Windows」の通信設定

4-13-1 「Welfer II for Windows」の基本的な設定



シリアル通信でファイルの送受信を行なうには、ホストコンピュータ側に「Welfer for Windows」(別売り)をインストールしてください。

「Welfer for Windows」を起動すると、 「通信モニタ」画面を表示します。



「Welfer for Windows」の基本設定は、 タスクバーのアイコンを右クリックして表 示されるコンテキストメニューから行ない ます。

タスクバーのアイコンを右クリックして [プロパティ]を選択すると、通信に関する設定を行なうダイアログを表示します。

プログラムインストール後の既定値は、次の様に設定されています。

システム構成	光通信システム
通信ポート	通信ポート (COM1)
通信速度	9600
データビット	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	RTS/CTS





4-13-2 CTR-800-01 の通信設定

「Welfer for Windows」を使用したファイルの送受信では、CTR-800-01 の通信設定 (P.4-8) を次のように設定してください。

ボーレート	2400bps~115200bps (Welfer と同じ設定)
データ長	8ビット
ストップビット長	1ビットまたは2ビット(Welfer と同じ設定)
パリティ	なし、奇数、偶数 (Welfer と同じ設定)
ポート	任意



CTR-800-01 の通信設定は、必ずホストコンピュータにインストールされている「Welfer for Windows」の通信設定と同じ条件に設定してください。

4-13-3 CTR-800-01 から受信(アップロード)した ファイルの保存場所

アップロードしたファイルの保存場所を設定します。

プログラムをインストールした直後のファイルの保存先は、カレントディレクトリ (Welfer32.exe のあるディレクトリ)に設定されています。

任意のディレクトリを保存先に指定する場合は、プロパティの[アップロード]タブをクリックします。表示される画面の「保存する場所」の[参照]ボタンを押して、保存先のディレクトリを指定します。この際、ディレクトリを直接指定することはできません。ディレクトリ内のファイルを指定してください。保存先を指定しない場合は、カレントディレクトリに保存されます。



「Welfer II for Windows」で、アップロードする際のファイルの保存先を、任意のディレクトリに指定する場合

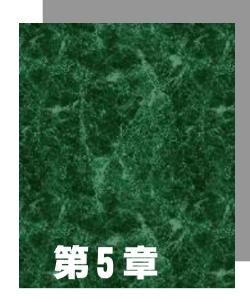
はじめに、保存先にするディレクトリに保存されているファイルを選択します。

次に、ウィンドウ内の「保存する場所」に入力されているパスの一番最後のファイル名を削除すると、ディレクトリを指定したことになります。 保存する場所がファイル名になっている場合、CTR-800-01 から送信されるファイルは全てここで指定したファイル名で保存されます。 CTR-800-01 から違うファイルを送信しても、ここで設定されているファイ



CTR-800-01 から違うファイルを送信しても、ここで設定されているファイル名で上書き保存されます。

- 例 -
- ・ファイルを指定した状態 D:\Program Files\Welfer\sample02.dat
- ・ディレクトリを指定した状態 D:\Program Files\Welfer



FAQ 編

5-1 FAQ (よくある質問と回答)

ここでは、よくある質問やトラブルおよびトラブルを解決するために確認する必要のある項目と本マニュアルの参照ページを記載します。ここで解決できないトラブルは本マニュアル「FAX お問い合わせ票/修理依頼票」に必要事項をご記入の上、弊社までご連絡ください。

Q:電源が入らない

バッテリーカートリッジは正しく装着されていますか?----(P.2-11) バッテリーカートリッジは充電されていますか?----(P.2-10) バッテリーカートリッジの電極は汚れていませんか?----(P.2-10)

Q:画面に何も表示されない

バッテリーカートリッジは正しく装着されていますか?----(P.2-11) バッテリーカートリッジは充電されていますか?----(P.2-10) バッテリーカートリッジの雷極は汚れていませんか?----(P.2-10)

< 上記の項目を確認しても解決できない場合 > 次の方法で、システムメニューを起動してみてください。

「パッテリーカートリッジを取り外します」 「10 秒待ちます」 「パッテリーカートリッジを装着します」 「読取キーを押しながら (PW) を押します」

上記の方法でも問題が解決されない場合は、電源を OFF にして、⑤ + ⑥ + 読取キーを押しながら (PW) キーを押して、システムメニューの初期化を行なってください。 ---- (P.4-48)

Q: しばらく操作を中断したら、電源が OFF になってしまった

バッテリーカートリッジは充電されていますか?----(P.2-10) オートパワーオフ機能が起動していませんか?----(P.4-47)

Q:充電できない

バッテリーカートリッジは充電器に正しく装着されていますか? 「バッテリーカートリッジ HBC-51/54 専用充電器 HQC-51/54」付属の取扱説明書をご覧く ださい。

Q:システムメニューが起動しない

自動実行に"アプリケーション"が設定されていませんか?----(P.4-7) システムメニューの「1:システム設定」>「1:自動実行」で設定してください。

強制的にシステムメニューを起動する場合は、読取キーを押しながら (PW) キーを押してください。---- (P.4-5)

Q:電源を ON にしたときに起動するアプリケーションを変更 したい

システムメニューの「1:システム設定」>「1:自動実行」で設定してください。----(P.4-7)

Q:別のアプリケーションを起動するには

システムメニューの「4:ファイル」>「1:実行」で、起動したいアプリケーションを選択してください。----(P.4-27)

Q:バーコードが上手く読取れない

アプリケーションの設定に沿ったバーコードを読取っていますか? アプリケーションの設定によっては、特定の種類のバーコードが読取り禁止になっている 場合があります。

正反射が起こってませんか? ---- (P.2-8)

読取距離は正しいですか?----(P.2-7)

読取口のフィルタは汚れていませんか?----(P.1-4)

読取口のフィルタが汚れていると正しくバーコードを読取らないことがあります。乾いた柔らかい布でフィルタを拭いてください。

Q:ドライブの空き容量を確認するには

システムメニューの「4:ファイル」>「7:ドライブ」で確認します。----(P.4-35)

Q:無線でデータ通信ができない

各機器は正しく接続されていますか?

・イーサネット LAN に SS 無線アクセスポイント (CTR-800-RL2) を接続 イーサネットケーブルを接続

< 圏外 LFD が点灯する場合 >

ドメイン、チャンネル、サプチャンネルの設定は一致していますか?----(P.4-16) アクセスポイントとバーコード端末の設定を確認してください。

セキュリティ ID は一致していますか?----(P.4-17)

不明な場合はもう一度設定し直してください。

端末はアクセスポイントの通信エリア内にいますか? ---- (P.2-4)

< 圏外 LED が消灯または点滅する場合 >

同じチャンネルのアクセスポイントが複数存在していませんか?----(P.4-16) アクセスポイントのチャンネル/サブチャンネルの組み合わせは他のアクセスポイントと 重複しないように設定してください。

障害の原因となる雷波が発生していませんか?

電子レンジや他の無線 LAN など障害要因となる機器がないか確認してください。 またコンピュータがノイズ発生源となることもありますので、アクセスポイントおよび端 末から 1m以上離す様にしてください。

IP アドレス等 TCP/IP の設定に問題ありませんか?---- (P.4-45) ping 等でコンピュータに接続できるか確認してください。

Q:IrDA または RS-232C でデータ通信ができない

各機器は正しく接続されていますか?

・PC と CTR-800-01 を接続----(P.1-5) PC 接続用ケーブル(HOP-C031)を使用

・PC と光通信ユニット (HIF-51) を接続---- (P.1-5)

HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A)を使用

・光通信ユニット(HIF-51)をデイジーチェーン接続----(P.6-6)ディジーチェーン接続用ケーブル(STP-C001A)を使用

シリアル通信設定は正しく行なわれていますか?----(P.4-8)

光通信ユニットとコンピュータは正しく接続されていますか?

デイジーチェーン接続時に、光通信ユニット (HIF-51)の DIP スイッチは正しく設定されていますか?---- (P.6-6)

CTR-800-01 や光通信ユニット (HIF-51) の IrDA インターフェースは汚れていませんか?----(P.1-2)

IrDA インターフェースが汚れていると正しく IrDA 通信が行なわれないことがあります。 乾いた柔らかい布でインターフェースを拭いてください。

Q:ファイルの送受信中に「書き込みに失敗しました」と表示された

ドライブSの空き領域が少ない場合などに表示されます。---- (P.3-3、4-33) ドライブFにファイルを受信するときは、CTR-800-01は、ドライブS上に受信するファイルと同じだけの作業領域を必要とします。ドライブSのファイルを削除して空き容量を増やしてからやり直してください。

Q:ファイルの送受信中に「タイムアウトしました」と表示された

送信または受信待ち状態などのままで一定時間が経過すると表示されます。

ホストコンピュータの通信ソフトは起動していますか?----(P.4-50)

通信設定は正しく設定されていますか?---- (P.4-8、4-16、4-26)

光通信ユニット(HIF-51)とホストコンピュータは正しく接続されていますか?------(P.1-5、6-5)

CTR-800-01 とホストコンピュータは正しく接続されていますか?----(P.1-5) CTR-800-01 や光通信ユニット(HIF-51)の IrDA インターフェースは汚れていませんか?----(P.1-2)

IrDA インターフェースが汚れていると正しく IrDA 通信が行なわれないことがあります。 乾いた柔らかい布でインターフェースを拭いてください。

ホストコンピュータのリソースが不足していませんか?

通信ソフト以外のアプリケーションなどが起動している場合、コンピュータのリソースが 不足することで、ファイルの送受信が上手く行なわれないことがあります。通信に必要な いアプリケーションは、できるだけ終了してから再度通信を行なってください。

Q:ファイルの送受信中に「接続に失敗しました」と表示された

無線およびネットワークの通信設定は正しく行なわれていますか?----(P.4-8、4-16、4-26)

コンピュータ上で FTP サーバは起動していますか?

SS 無線アクセスポイント (CTR-800-RL2) とコンピュータは LAN 回線上で正しく接続されていますか?---- (P.1-5)

FTP の設定は正しく行なわれていますか? ---- (P.4-21)

Q:端末のIPアドレス等の設定をコンピュータから一括設定したい

「WebGlider」の DHCP サーバを使って端末の設定を自動化することができます。

Q:アプリケーションの起動やファイルの送受信ができない

バッテリーカートリッジの電圧が弱いときは、一部の機能が操作できなくなります。 バッテリーカートリッジは充電されていますか?----(P.4-47、2-10)

Q:ファイルが壊れているようなのですが

ファイルを削除するか、ホストコンピュータ等に転送してデータを復旧するなどの措置をとってください。----(P.4-33、4-33)

Q:「アプリケーションエラー」と表示され、キーを押したら電 源が OFF になった

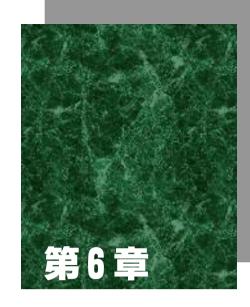
アプリケーションが不正な処理を行なった場合に表示します。このメッセージが表示された場合、何かキーを押すとアプリケーションは強制終了されます。電源が切れる場合もあります。メッセージの形式はエラーの種類やシステムプログラムのバージョンによって異なります。

システム管理者に相談してください。

Q:「システムエラー」と表示され、キーを押したら電源が OFF になった

システムプログラムがエラーの原因を特定できなかった場合に表示します。ハードウェア、システムプログラム、アプリケーション等の障害、強度の静電気のような外部要因、ユーザの操作ミスなどの原因が考えられます。システムエラーメッセージが表示された場合、何かキーを押すと電源が切れます。次の起動時に可能な限り自己復旧します。

再度電源を投入してください。---- (P.4-5)



光通信ユニット (HIF-51) 編

本章では、光通信ユニット (HIF-51) について説明します。 光通信ユニット (HIF-51) をご利用になる場合は、光通信ユニット (HIF-51)付属のマニュアルとあわせて、本章をお読みください。

6-1 はじめに

光通信ユニット(HIF-51)は、「Welfer for Windows」を使用した、ファイル転送専用の光通信ユニットです。

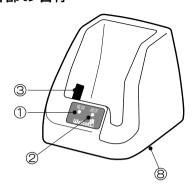
CTR-800-01 の IrDA 通信機能を使用して、光通信ユニット経由で「Welfer for Windows」がインストールされたホストコンピュータとデータ通信を行なうことができます。

デイジーチェーン接続用ケーブル(STP-C001A)を使用することで、ホストコンピュータから、1つのファイルを複数の端末に一度に送信(同報送信)することが可能です。複数の光通信ユニットをデイジーチェーン接続している場合、光通信ユニットに接続した全ての端末から、ホストコンピュータへデータを送信できます。

デイジーチェーン接続とは

デイジーチェーン接続とは、周辺機器を次から次へと鎖状につなげていく接続方法のことを指します。光通信ユニット(HIF-51)では、最大 16 台(接続全長 1200m)までデイジーチェーン接続が可能です。詳しくは、「6-3 デイジーチェーン接続」(P.6-6)をご覧ください。

6-1-1 各部の名称





電源 LED

電源がONになると、緑色に点灯します。

通信中、または通信待機中に赤く点灯します。



電源 LED が緑色の状態で、ファイルの送受信を開始してください。(「電源 LED について」(P. 6-4)参照)

通信 LED

CTR-800-01 からデータ送信中は、 橙色に点灯します。

CTR-800-01 がデータ受信中は、緑色に点灯します。

赤外線通信(IrDA)インターフェース

CTR-800-01 と赤外線通信 (IrDA) を行ないます。

(IrDA SIR 1.2 Low Power Option 規格準拠)



赤外線通信(IrDA)インターフェースが汚れていたり、異物がついていると誤作動の原因になります。

電源スイッチ

AC 電源コネクタ

RS-232C コネクタ

ホストコンピュータと HIF-51 PC 接続用ケーブル (WRS-AXC003A: 別売り) で接続します。

RS-485 コネクタ×2

他の光通信ユニット(HIF-51)とデイジーチェーン接続用ケーブル(STP-C001A: 別売り)でデイジーチェーン接続します。

DIP スイッチ

光通信ユニット(HIF-51)の設定を行ないます。

(出荷時設定=1~6のスイッチは全てOFF)



光通信ユニット (HIF-51) 底面にある DIP スイッチの 2 番から 6 番は、出荷時に設定されている値 (OFF) から変更しないでください。むやみに変更すると、誤作動および故障原因となります。 複数台をデイジーチェーン接続する場合は、P.6-6をご覧ください。

電源 LED について

通信中に光通信ユニット (HIF-51) から CTR-800-01 を取り外すと、しばらくの間電源 LED が赤く点灯したままになることがあります。この時点では、まだ光通信ユニット (HIF-51) とホストコンピュータとの間で通信処理が行なわれています。通信処理が完了して電源 LED が緑色になってから、次のファイルの送受信を開始してください。

電源 LED が赤く点灯している状態では、次のファイルの送受信を正しく行なうことはできません。

6-2 接続

6-2-1 ホストコンピュータとの接続



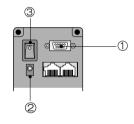
ホストコンピュータとの接続の際は、HIF-51 PC 接続用ケーブル (WRS-AXC003A)をご用意ください。



ホストコンピュータに HIF-51 PC 接続用ケーブル (WRS-AXC003A) で接続します。

AC アダプタを接続します。

光通信ユニット背面の電源スイッチを ON にします。



CTR-800-01 のデータ送受信の準備が整ったら、光通信ユニット (HIF-51) に置き データの送受信を行ないます。 (P.4-29、4-31)

データの送受信の準備が整った CTR-800-01 は、電源 LED が緑の状態の光通信ユニット (HIF-51) に置いてください。電源 $\overline{\text{LED}}$ が赤の状態で置くと送受信は失敗します。



CTR-800-01 を、光通信ユニット (HIF-51) に置いたまま操作しないでください。光通信ユニットが倒れたり、光通信ユニットから CTR-800-01 が落下したり、故障の原因となります。

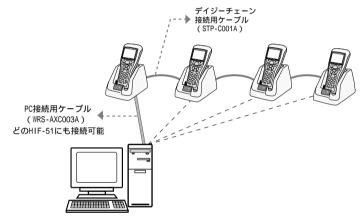
光通信ユニットは、コンピュータや蛍光灯などのノイズを発する機器から、なるべく離してご使用ください。

ノイズの影響により、正しく通信できなくなる場合があります。

6-3 デイジーチェーン接続

光通信ユニット (HIF-51) では他の光通信ユニット (HIF-51) と、デイジーチェーン接続用ケーブル (STP-C001A) で最大 16 台までデイジーチェーン接続することが可能です。

デイジーチェーン接続では、ホストコンピュータから、1つのファイルを複数の端末に一度に送信(同報送信)することが可能です。また、デイジーチェーン接続されている複数の光通信ユニットでは、どのユニットからもホストコンピュータへデータを送信することが可能です。





光通信ユニットでデータ通信中は、他の光通信ユニットで電源スイッチの操作(電源のON/OFF)をしないでください。 データ通信が上手くいかなくなる場合があります。

DIP スイッチの設定

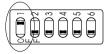
デイジーチェーン接続をする場合、光通信ユニット (HIF-51)底面にある「DIP スイッチ」の設定が必要です。

接続の両端にある光通信ユニットの「DIP スイッチ」の 1 番を ON にします。2~6 番は変更しないでください。

「DIP スイッチ」の設定詳細は、「6-3-1 構成例(DIP スイッチの設定)」(P.6-7)をご覧ください。



▼1番 ON 2~6番 出荷時設定のまま

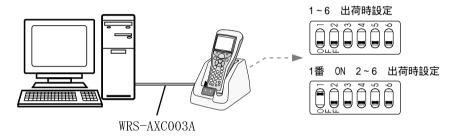


诵信時のポイント

デイジーチェーン接続されている他の光通信ユニットがホストコンピュータと通信中のときに、別の光通信ユニットを使用して通信開始すると、CTR-800-01 に「回線が使用中です」と表示され、CTR-800-01 と光通信ユニットは通信待機状態になります。回線が使用可能になると、通信を開始します。通信待機状態をキャンセルするには、②キーを押します。

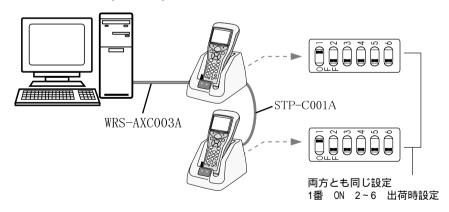
6-3-1 構成例(DIP スイッチの設定)

光通信ユニット(HIF-51)が1台

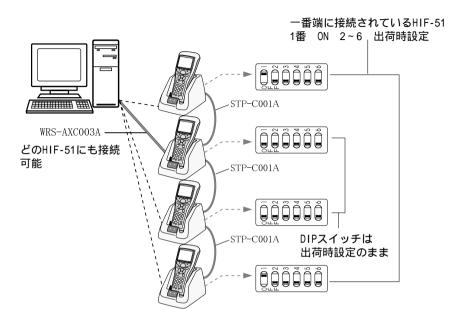


HIF-51 1台の接続時は、1番は ONでもOFFでも問題ありません。

光通信ユニット (HIF-51) が 2 台



光通信ユニット (HIF-51) が 3 台以上



DIP スイッチ仕様

項目	説明
1	ON:終端抵抗あり、OFF:終端抵抗無し
2	
3	
4	变更禁止
5	
6	

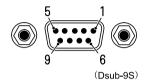


光通信ユニット (HIF-51) 底面にある DIP スイッチは、むやみに変更すると、誤作動および故障原因となります。

第6章

6-4 インターフェース

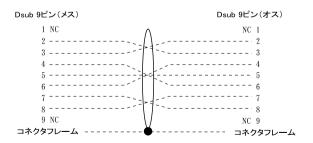
6-4-1 RS-232C インターフェース



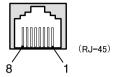
端子の信号レベルは、JISX5101 相当、ピン配列は DTE 仕様

ピン番号	端子名	方向	説明
1	NC	-	使用禁止
2	RxD	入力	受信データ
3	TxD	出力	送信データ
4	DTR	出力	データ端末レディ
5	GND	-	シグナルグランド
6	DSR	入力	データセットレディ
7	RTS	出力	送信要求
8	CTS	入力	送信可
9	NC	-	使用禁止

光通信ユニット (HIF-51) PC 接続用ケーブル (WRS-AXC003A) 結線図



6-4-2 RS-485 インターフェース



ピン番号	説明
1	使用禁止
2	使用禁止
3	使用禁止
4	信号線(+)
5	信号線 (-)
6	HIF-51 接続検出線
7	HIF-51 接続検出線
8	GND



デイジーチェーン接続を行なう際は、必ずデイジーチェーン接続用ケーブル(STP-C001A)をご使用ください。市販されているイーサネット用ケーブル使用すると、故障の原因となります。

6-4-3 インターフェース仕様

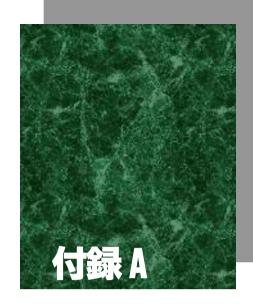
	通信方式		全2重方式
	同期方式		調歩同期方式
		ボーレート	2400 ~ 115200bps
		データビット長	7ビット/8ビット
	通信条件	パリティ	偶数、奇数、なし
RS-232C		ストップビット長	1ビット/2ビット
		フロー制御	RTS/CTS 制御
	コネクタ		HDEB-9S ヒロセ電機製
			D-sub9S
	かん合固定台		RDG-LNA-W1 ヒロセ電機製
	雌ネジ		M2.6

	通信方式		半2重方式
	同期方式		調歩同期方式
		ボーレート	2400 ~ 115200bps
RS-485 マルチドロップ	通信条件	データビット長	7ビット/8ビット
		パリティ	偶数、奇数、なし
		ストップビット長	1ビット/2ビット
	コネクタ		HEC0470-01-230 ホシデン製
	コホクラ		RJ-45

	IrDA 規格		IrDA SIR 1.2 Low Power Option 規格準拠
	通信方式		半2重方式
 赤外線通信部	伝送速度		2400 ~ 115200bps
が外線通信部 (IrDA)	同期方式		調歩同期方式
(IIDA)	通信条件	ボーレート	2400 ~ 115200bps
		データビット長	7ビット/8ビット
		パリティ	偶数、奇数、なし
		ストップビット長	1ビット/2ビット



通信条件は、CTR-800-01の設定に従います。



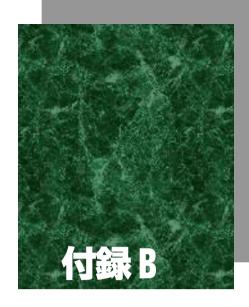
システムメニュー出荷時設定

システムメニュー出荷時設定値一覧

設定項目	メニュー階層	設定可能範囲	出荷時設定値
自動実行プログラム	1:システム 1:自動実行	システムメニュー 任意のアプリケーション	1 : システムメ ニュー
シリアル通信 ボーレート	1:システム 2:シリアル通信 1:ボーレート	38400 • 57600 • 115200bps	
シリアル通信 データ長	1:システム 2:シリアル通信 2:データ長	8 ビット	2:8ビット
シリアル通信 ストップビット	1:システム 2:シリアル通信 3:ストップビット長	2 ビット	1:1ビット
シリアル通信 パリティ	1:システム 2:シリアル通信 4:パリティ	奇数 偶数 なし	3:パリティなし
シリアル通信ポート	1:システム 2:シリアル通信 5:ポート	IrDA RS232C	1: IrDA
LCD コントラスト	1:システム 4:コントラスト	レベル1~8	レベル4
ブザー音量	1:システム 5:ブザー 1:ブザー音量	レベル1~8	レベル8
ブザーデバイス	1:システム 5:ブザー 1:デバイス選択	ブザー バイプ 両方	1:ブザー
スキャナ トリガモード	1:システム 6:スキャナ 1:トリガモード	ノーマル デコードトリガ リリーストリガ	1: ノーマルトリガ
スキャナ パワーセーブ	1:システム 6:スキャナ 1:パワーセーブ	セーブしない クイックセーブ フルセーブ	2: クイックセーブ
レジューム	1:システム 7:レジューム	ON OFF	OFF
無線ドメイン	2:ネットワーク 1:無線 1:チャンネル設定 1:ドメイン	0 ~ 15	0
無線チャンネル	2:ネットワーク 1:無線 1:チャンネル設定 2:チャンネル	0 ~ 15	0
無線サブチャンネル	2:ネットワーク 1:無線 1:チャンネル設定 3:サプチャンネル	0 ~ 15	0
無線セキュリティ ID	2:ネットワーク 1:無線 1:チャンネル設定 4:セキュリティ ID	20 文字までの英数字	設定なし
無線ローミング レベル	2:ネットワーク 1:無線 2:無線パラメータ 1:ローミングレベル	Fast Normal Slow	2:Normal

### 2: 無線パラメータ 2: 歯電力タイムアウト 2: 歯電力タイムアウト 2: 歯電力タイムアウト 2: 歯電力タイムアウト 2: 歯電力タイムアウト 2: ボットワーク 1: 無線 2: 無線パラメータ 3: 送信方式				1
2:省電力タイムアウト なし	無線省電力	2:ネットワーク 1:無線		2:5秒
無線送信方式 2: ネットワーク 1: 無線 2: 無線パラメータ 3: 送信方式 2: 無線パラメータ 3: 送信方式 2: 無線パラメータ 3: 送信方式 2: ネットワーク 2: TCP/IP IP アドレス形式の 1: IP アドレス 2: ネットワーク 2: TCP/IP IP アドレス形式の 1: IP アドレス 2: ネットワーク 2: TCP/IP IP アドレス形式の 1: IP アドレス 1: IP アドレス IP アドレス形式の 1: IP アドレス IP アドレス形式の IP アドレス形式の 2: ネットワーク 2: TCP/IP IP アドレス形式の 1: 使わない 3: ゲートウェイ 2: ネットワーク 3: DHCP IP IP アドレス形式の 1: 使わない 毎起動時に実行 今すぐに実行 IP アドレスド式の 1: ホストアドレス 2: ネットワーク 4: FTP IP アドレス形式の 1: ホストアドレス 1: ホストアドレス 1: ホストアドレス 1: ホストアドレス 2: ネットワーク 4: FTP IP アドレス形式の 1: ボストアドレス 2: ネットワーク 4: FTP IP アドレス形式の 1: ボストアドレス 1: ボストアドレス 1: ボストアドレス 2: ネットワーク 5: DNS IP アドレス形式の 1: ブライマリ 1: ゴラニニティ (R/Only) 1: コミュニティ (R/Only) 1: コミュニティ名 2: ネットワーク 6: SNMP 2: コミュニティ名 2: ネットワーク 6: SNMP 1: コミュニティ名 2: ネットワーク 6: SNMP 2: コミュニティ名 2: ネットワーク 6: SNMP 2: コミュニティ名 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 2: コミュニティ名 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 3: Trap 3: Trap 3: Trap 3: Trap 3: Trap 1: SP TP TV ス 5: PT TV	タイムアウト	2:無線パラメータ	秒・20 秒・25 秒・30 秒・	
P アドレス 1: ボットワーク 2: TEMP/IP IP アドレス形式の		2: 省電力タイムアウト	なし	
Pアドレス 2: ネットワーク 2: TCP/IP IPアドレス形式の 1: IPアドレス IPRO IPPRICATE IP	無線送信方式	2:ネットワーク 1:無線	BFSK	AUT0
P アドレス		2:無線パラメータ	AUTO	
1: IPアドレス 任意値		3:送信方式		
サブネットマスク 2:ネットワーク 2:TCP/IP 2:サブネットマスク 任意値 000.000.000.000.000 ゲートウェイ 2:ネットワーク 2:TCP/IP 日 アドレス形式の 3:ゲートウェイ 日意値 000.000.000.000.000 DHCP クライアント 2:ネットワーク 3:DHCP 伊かない 毎起動時に実行 今すぐに実行 FTP ホストアドレス 1:ホストアドレス 日意値 IPアドレス形式の 日意値 FTP ログイン名 2:ネットワーク 4:FTP 1:ホストアドレス 日意値 IPアドレス形式の 000.000.000.000.000 FTP パスワード 2:ネットワーク 4:FTP 3:パスワード 3:パスワード 3:パスワード 3:パスワード 3:パスワード 3:パスワード 3:ガライマリ 日まットワーク 5:DNS IPアドレス形式の 位意値 000.000.000.000.000 DNS サーパ 1:ブライマリ 2:ネットワーク 5:DNS IPアドレス形式の (日意値) Pyトレス形式の 1:コライマリ 2:ネットワーク 6:SNMP 1:コミュニティ (R/Only) コミュニティ (R/Only) コミュニティ (R/Only) コミュニティ (R/Only) コミュニティ名 2:ネットワーク 6:SNMP 1:コミュニティ (R/W) コミュニティ (R/W) 2:コミュニティ (R/W) 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap 3:Trap 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap 3:Trap 3:Trap 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap 3:Trap 3:Trap 3:Trap 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap	IPアドレス	2:ネットワーク 2:TCP/IP	IP アドレス形式の	000.000.000.000
2:サブネットマスク 任意値		1:IP アドレス	任意値	
ゲートウェイ 2: ネットワーク 2: TCP/IP 3: ゲートウェイ IP アドレス形式の 任意値 DHCP クライアント 2: ネットワーク 3: DHCP 使わない 毎起動時に実行 今すぐに実行 FTP ホストアドレス 1: ホストアドレス 日意値 1: ホストアドレス 日意値 2: ネットワーク 4: FTP 18 文字までの英数字 2: エットワーク 4: FTP 2: ログイン名 2: ネットワーク 4: FTP 3: バスワード 2: エットワーク 4: FTP 3: バスワード 2: ネットワーク 4: FTP 3: バスワード 2: ネットワーク 5: DNS 1P アドレス形式の 日意値 1: ブライマリ 2: ネットワーク 5: DNS 1P アドレス形式の 日意値 1: ブライマリ 2: ネットワーク 5: DNS 1P アドレス形式の 日意値 1: ブライマリ 2: ネットワーク 5: DNS 1P アドレス形式の 日意値 1: ブライマリ 2: ネットワーク 6: SNMP 1: コミュニティ (R/Only) 1: コミュニティ (R/Only) 1: コミュニティ (R/Only) 2: ネットワーク 6: SNMP 1: コミュニティ (R/Only) 2: マネージャ 1P アドレス 2: ネットワーク 6: SNMP 1: コミュニティ (R/M) 2: コミュニティ (R/M) 1: コミュニティ (R/M) 2: マネージャ 1P アドレス 2: ネットワーク 6: SNMP コミュニティ (R/M) 2: マネージャ 1P アドレス 3: Trap 1: 条件設定 1P アドレス FD (DO0.000.000.000.000.000.000.000.000.000.	サブネットマスク	2:ネットワーク 2:TCP/IP	IP アドレス形式の	000.000.000.000
3:ゲートウェイ 任意値 日本のは 日本		2:サブネットマスク	任意値	
DHCP クライアント 2:ネットワーク 3: DHCP 使わない 毎起動時に実行 今すぐに実行 1:使わない 毎起動時に実行 今すぐに実行 1:使わない 毎起動時に実行 今すぐに実行 1:使わない 600.000.000.000.000.000 000.000.000.000.000 000.000.000.000.000 000.0	ゲートウェイ	2: ネットワーク 2: TCP/IP	IP アドレス形式の	000.000.000.000
### ### #############################		3:ゲートウェイ	任意値	
字すぐに実行	DHCP クライアント	2:ネットワーク 3:DHCP	使わない	1:使わない
FTP ホストアドレス 2: ネットワーク 4: FTP 1: ホストアドレス 任意値			毎起動時に実行	
FTP ホストアドレス 2: ネットワーク 4: FTP 1: ホストアドレス 任意値				
### Trp ログイン名	FTP ホストアドレス	2:ネットワーク 4:FTP		000.000.000.000
FTP ログイン名				
### STAP	FTP ログイン名			設定なし
STP Record 1				
3:パスワード	FTP パスワード		20 文字までの英数字	設定なし
プライマリ 2:ネットワーク 5: DNS IP アドレス形式の 1: プライマリ	, , , , , ,			12.2.3.3
Trap	プライマリ	2:ネットワーク 5:DNS	IPアドレス形式の	000 000 000 000
セカンダリ DNS サーバ SNMP コミュニティ (R/Only) コミュニティ名 2:ネットワーク 6:SNMP 1:コミュニティ(R/Only) 1:コミュニティ名 public SNMP コミュニティ (R/Only) コミュニティ名 2:ネットワーク 6:SNMP 1:コミュニティ(R/Only) 2:ネットワーク 6:SNMP 2:マネージャ IPアドレス 000.000.000.000.000 SNMP コミュニティ (R/W) コミュニティ名 2:ネットワーク 6:SNMP 2:コミュニティ(R/W) 1:コミュニティ名 private SNMP コミュニティ (R/W) マネージャ IPアドレス 2:ネットワーク 6:SNMP 2:コミュニティ(R/W) 2:コミュニティ(R/W) 2:コミュニティ(R/W) 2:コミュニティ名 000.000.000.000.000 SNMP Trap コミュニティ名 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap 2:マネージャ IPアドレス CTR800 SNMP Trap マネージャ IPアドレス 2:ネットワーク 6:SNMP 3:Trap 2:マネージャ IPアドレス 000.000.000.000.000 SNMP Trap マネージャ IPアドレス Trap 1: 条件設定 1Pアドレス形式の (日意値 000.000.000.000.000				000.000.000.000
DNS サーバ 2:セカンダリ 任意値 SNMP コミュニティ (R/Only) 1:コミュニティ(R/Only) public 1:コミュニティ名 1:コミュニティ名 000.000.000.000 SNMP コミュニティ (R/Only) 1:コミュニティ(R/Only) 000.000.000.000 マネージャ IPアドレス 2:ネットワーク 6:SNMP private SNMP コミュニティ (R/W) 2:コミュニティ(R/W) private SNMP コミュニティ (R/W) 2:コミュニティ(R/W) 000.000.000.000 マネージャ IPアドレス 2:ネットワーク 6:SNMP CTR800 コミュニティ名 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 000.000.000.000 コミュニティ名 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 000.000.000.000 マネージャ IPアドレス 3:Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 2:送信しない 不正アクセス Trap 3: Trap 3: Trap 2:送信しない アエアクセス Trap 1:条件設定 IPアドレス形式の (日意値 000.000.000.000				000 000 000 000
SNMP コミュニティ				
(R/Only) 1:コミュニティ(R/Only) コミュニティ名 2:ネットワーク 6:SNMP (R/Only) 1:コミュニティ(R/Only) マネージャ IPアドレス 2:ネットワーク 6:SNMP (R/W) 2:コミュニティ(R/W) コミュニティ名 2:ネットワーク 6:SNMP SNMP コミュニティ 2:ネットワーク 6:SNMP (R/W) 2:コミュニティ(R/W) コミュニティ名 2:ネットワーク 6:SNMP SNMP Trap 2:ネットワーク 6:SNMP コミュニティ名 3:Trap 2:コミュニティ名 CTR800 SNMP Trap 2:ネットワーク 6:SNMP マネージャ IPアドレス 000.000.000.000.000 SNMP Trap 2:ネットワーク 6:SNMP ス: Trap 2:マネージャ IPアドレス SNMP Trap 2:ネットワーク 6:SNMP ス: Trap 2: ス・ネージャ IPアドレス ス: Trap 3: Trap 3: Trap 3: Trap 3: Trap 2: ス・ネージャ IPアドレス ス・ス・ア・フ・レス・ア・レス・ア・レス・ア・レス・ア・レス・ア・レス・ア・レス				public
コミュニティ名 SNMP コミュニティ (R/Only) マネージャ IP アドレス SNMP コミュニティ (R/W) コミュニティ (R/W) コミュニティ (R/W) コミュニティ (R/W) コミュニティ (R/W) コミュニティ (R/W) マネージャ IP アドレス SNMP コミュニティ (R/W) コミュニティ (R/W) フネージャ IP アドレス SNMP コミュニティ (R/W) コミュニティ (R/W) フネージャ IP アドレス SNMP Trap コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ (SNMP Trap コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 コミュニティ名 ロの00.000.000.000 ロの00.000.000				F
SNMP コミュニティ (R/Only) 2: ネットワーク 6: SNMP 1: コミュニティ (R/Only) 2: マネージャ IP アドレス SNMP コミュニティ (R/W) 2: コミュニティ (R/W) 1: コミュニティ (R/W) 2: コミュニティ (R/W) 1: コミュニティ (R/W) 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 2: スットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: コミュニティ名 SNMP Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス 5: ズェージャ IP アドレス 5: XNMP Trap 3: Trap 3: 不正アクセス Trap 1: 条件設定 IP アドレス形式の 任意値				
(R/Only) 1:コミュニティ(R/Only) マネージャ IPアドレス 2:マネージャ IPアドレス SNMP コミュニティ(R/W) 2:コミュニティ(R/W) コミュニティ名 1:コミュニティ名 SNMP コミュニティ 2:ネットワーク 6:SNMP (R/W) 2:コミュニティ(R/W) マネージャ IPアドレス 2:ネットワーク 6:SNMP コミュニティ名 3:Trap 2:コミュニティ名 CTR800 SNMP Trap 2:ネットワーク 6:SNMP マネージャ IPアドレス 3:Trap 2:マネージャ IPアドレス 000.000.000.000.000 SNMP Trap 2:ネットワーク 6:SNMP ス・マ・ジャ IPアドレス 2:ネットワーク 6:SNMP 3: Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 3: Trap 3:Trap 3: Trap 1: アークセス Trap ping ホストアドレス 6:テスト 6:ping IPアドレス形式の 1: 条件設定 (日意値				000.000.000.000
マネージャ IPアドレス 2: マネージャ IPアドレス SNMP コミュニティ (R/W) 2: コミュニティ (R/W) private コミュニティ名 1: コミュニティ (R/W) 000.000.000.000.000 SNMP コミュニティ 2: ネットワーク 6: SNMP 2: コミュニティ (R/W) 000.000.000.000.000 SNMP Trap コミュニティ名 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: コミュニティ名 CTR800 SNMP Trap マネージャ IPアドレス 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: マネージャ IPアドレス 000.000.000.000 SNMP Trap マネージャ IPアドレス 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 3: Trap 3: Trap 3: Trap 1: 条件設定 2: 送信しない 1Pアドレス形式の 日意値				
SNMP コミュニティ (R/W) 2: コミュニティ(R/W) 1: コミュニティ名 SNMP コミュニティ (R/W) 2: コミュニティ名 SNMP コミュニティ (R/W) 2: コミュニティ名 SNMP Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 2: コミュニティ名 SNMP Trap 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 3: Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 3: Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 3: 不正アクセス Trap 3: 不正アクセス Trap 1: 条件設定 IP アドレス形式の 任意値	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *			
(R/W) 2:コミュニティ(R/W) コミュニティ名 1:コミュニティ名 SNMP コミュニティ (R/W) 2:ネットワーク 6:SNMP (R/W) 2:コミュニティ(R/W) マネージャ IPアドレス 2:ネットワーク 6:SNMP コミュニティ名 3: Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 000.000.000.000 マネージャ IPアドレス 3: Trap 2:マネージャ IPアドレス 000.000.000.000 SNMP Trap 2:ネットワーク 6:SNMP ス・マネージャ IPアドレス 2:送信しない 不正アクセス Trap 3: Trap 3: 不正アクセス Trap IPアドレス形式の任意値				private
コミュニティ名 SNMP コミュニティ (R/W) マネージャ IPアドレス SNMP Trap コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 SNMP Trap フネージャ IPアドレス コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 コミュニティ名 コミュニティ名 コミュニティ名 コミュニティ名 SNMP Trap コミュニティ名 ロの000.000.000.000.000 ロの000.000.000.000 ロール コミュニティ名 コートロー・コートロー・コートロー・コートロー・コー・コートロー・コートロー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー				
SNMP コミュニティ (R/W) 2: コミュニティ(R/W) 2: コミュニティ(R/W) 2: コミュニティ(R/W) 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 3: Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 3: Trap 2: マネージャ IP アドレス SNMP Trap 3: Trap 3: 不正アクセス Trap 3: 不正アクセス Trap 1P アドレス Trap 3: 不正アクセス Trap 1P アドレス Efficie 1P アドレス形式の 日意値	` '			
(R/W) 2:コミュニティ(R/W) マネージャ IPアドレス 2:マネージャ IPアドレス SNMP Trap 2:ネットワーク 6: SNMP コミュニティ名 000.000.000.000 SNMP Trap 2:ネットワーク 6: SNMP マネージャ IPアドレス 3: Trap 2: マネージャ IPアドレス 2: ネットワーク 6: SNMP 不正アクセス Trap 3: Trap 3: Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 3: Trap 3: Trap 000.000.000.000 3: Trap 000.000.000.000 1: 条件設定 IPアドレス形式の				000.000.000.000
マネージャ IPアドレス 2: マネージャ IPアドレス SNMP Trap コミュニティ名 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: コミュニティ名 CTR800 SNMP Trap マネージャ IPアドレス 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: マネージャ IPアドレス 000.000.000.000.000 SNMP Trap 不正アクセス Trap ping ホストアドレス 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 3: 不正アクセス Trap 2: 送信しない 1Pアドレス形式の 日アドレス形式の 日意値				
SNMP Trap コミュニティ名 2:ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2:コミュニティ名 000.000.000.000.000 SNMP Trap マネージャ IPアドレス 2:ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 2: マネージャ IPアドレス 000.000.000.000 SNMP Trap 不正アクセス Trap ping ホストアドレス 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 3: 不正アクセス Trap 2: 送信しない ping ホストアドレス 6: テスト 6: ping 1: 条件設定 IPアドレス形式の 任意値 000.000.000.000	` '			1
コミュニディ名 3:Trap 2:コミュニティ名 SNMP Trap マネージャ IPアドレス 3:Trap 2:マネージャ IPアドレス SNMP Trap 2:マネージャ IPアドレス SNMP Trap 3:Trap 3:Trap 3:Trap 3:Trap 1:条件設定 Ding ホストアドレス 3:Trap 3:不正アクセス Trap Ding ホストアドレス 6:テスト 6:ping 1:条件設定 Ding たるアドレス形式の 日意値				CTR800
2:コミュニティ名 SNMP Trap マネージャ IPアドレス 3: Trap 2:マネージャ IPアドレス SNMP Trap 不正アクセス Trap 3: Trap 3: 不正アクセス Trap ping ホストアドレス 6:テスト 6:ping 1:条件設定 2:送信しない 000.000.000.000.000 000.000.000.000 000.000.000.000 000.000.000.000 000.000.000.000				
SNMP Trap マネージャ IPアドレス 3: Trap 2: マネージャ IPアドレス SNMP Trap 不正アクセス Trap 2: マネージャ IPアドレス 3: Trap 3: Trap 3: Trap 3: 不正アクセス Trap ping ホストアドレス 6: テスト 6: ping 1: 条件設定 Q000.000.000.000.000 000.000.000.000.00				1
マネージャ IPアドレス 3: Trap 2: マネージャ IPアドレス 2: マネージャ IPアドレス SNMP Trap 不正アクセス Trap 2: ネットワーク 6: SNMP 3: Trap 3: 不正アクセス Trap 2: 送信しない ping ホストアドレス 6: テスト 6: ping 1: 条件設定 IPアドレス形式の 任意値 000.000.000.000	SNMP Trap			000.000.000.000
2:マネージャ IP アドレス SNMP Trap 2:ネットワーク 6: SNMP 2:送信しない 不正アクセス Trap 3: 不正アクセス Trap 000.000.000.000 ping ホストアドレス 6:テスト 6: ping IP アドレス形式の 1:条件設定 任意値				
SNMP Trap 2:ネットワーク 6:SNMP 2:送信しない 3:Trap 3:不正アクセス Trap ping ホストアドレス 6:テスト 6:ping IPアドレス形式の任意値				1
不正アクセス Trap 3: 不正アクセス Trap ping ホストアドレス 6: テスト 6: ping 1: 条件設定 IP アドレス形式の 任意値	SNMP Trap	2:ネットワーク 6:SNMP		2:送信しない
3: 不正アクセス Trap ping ホストアドレス 6: テスト 6: ping IP アドレス形式の 1: 条件設定 任意値 0000.000.000.000	· ·			
ping ホストアドレス 6:テスト 6:ping IP アドレス形式の 000.000.000.000 任意値		· ·		
1:条件設定 任意値	ping ホストアドレス		IP アドレス形式の	000.000.000.000
		1:ホストアドレス		
			•	•

ping パケットサイズ	6:テスト 6:ping 1:条件設定 2:パケットサイズ	32・64・128・256・512・ 1024・1500 バイト	1:32バイト
ping タイムアウト時間	6:テスト 6:ping 1:条件設定 3:タイムアウト時間	1~255 秒	1 秒
ping 試行回数	6:テスト 6:ping 1:条件設定 4:試行回数	0~255 回	4 回



サンプルバーコード

サンプルバーコード

JAN13





JAN8





UPC-E





付 録 B

CODE39 (C/D あり)





CODE39 (C/D なし)





付録B サンプルバーコード

NW-7(C/Dあり)





NW-7 (C/D なし)





NW-7 (HEX)





付 録 B

付 録 B

ITF(C/Dあり)





ITF(C/Dなし)





付録B サンプルバーコード

ITF (標準バージョン ITF-14)





ITF(拡張バージョン ITF-16)





ITF(アドオンバージョン ITF-6)





付 録 B

CODE128 (コードセットA)





CODE128 (コードセットB)





CODE128 (コードセットC)





付録B サンプルバーコード

EAN128 (コードセットA)



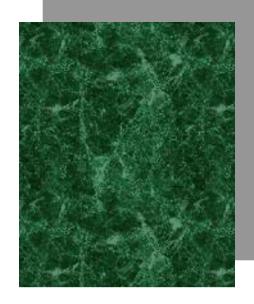
EAN128 (コードセットB)



EAN128 (コードセットC)



付 録 R



索引

A	I
AP 検索	IP アドレス4-19,付録 A-3 IrDA インターフェース1-3 IrDA 通信1-5
В	ITF(サンプルバーコード)付録 B-5,付録
BFSK (送信方式) 4-18 BS キー 1-3	B-6
С	
 CODE128(サンプルバーコード) 付録 B-7	JAN8 (サンプルバーコード) 付録 B-2
CODE39 (サンプルバーコード)付録 B-3	L
CTR-80 付録 B-01 で使用できるファイル名 3-3	LCD 表示部2-4
CTR-800-01 の主な機能 2-2 CTR-800-01 のソフトウェア 3-2	M
C +	MAC アドレス 4-25 MRD
	N
DHCP	NW-7(サンプルバーコード) 付録 B-4
DHCP クライアント 付録 A-3 DHCP クライアント機能 1-9	0
DHCP サーバ1-6	OS バージョン 4-38
DHCP の設定 1-9 DHCP リクエスト 4-5	Р
DIP スイッチ 6-7 DNS 4-21	PC 接続用ケープル
DNS の設定	ping テスト
Е	ping 実行
EAN128	R
FTP	RS232C
F	RS-232C インターフェース 1-3, 2-5
FROM	S
FTP クライアント機能 4-21 ftp サーバ 1-6	SF キー1-3 SNMP4-22, 付録 A-3
FTP の設定	SRAM
Н	Т
HBC-51 2-10 HIF-51 1-5, 6-1, 6-2	TCP/IP2-2
HOP-C031	TCP/IP 通信

TCP/IP 通信1-8 Trap の設定4-23	lt
Trap 07 12 AZ	警告 LED1-2, 2-5
U	ゲートウェイ4-19, 付録 A-3
UPC-E (サンプルバーコード) 付録 B-2	ī
W	光源2-4
W-h01:4 4.0.0.0.4	コミュニティ4-22
WebGlider 1-6, 3-2, 3-4	コミュニティ名4-22, 4-23
Welfer for Windows 1-6, 1-10, 4-50	
WRS-AXC003A 1-5	コントラスト4-10, 付録 A-2
あ	コントラスト調整 2-4
<u></u>	t
アクセスポイント1-5, 1-8	
アクセスポイントの検索 4-40	サブチャンネル2-5
アクセスポイントの役割1-8	サブチャンネル 4-17, 付録 A-2
	サブネットマスク4-19, 付録 A-3
アップロード 4-51	サンプルバーコード 付録 B-2
アプリケーションの起動4-27	リンフルバーコード19 mx D-2
アプリケーションプログラム 3-2	L L
アンテナ 2-5	
5	試行回数4-45, 付録 A-4
え	システムプログラム 3-2
Enter + 1-3	システムメニュー3-2, 3-4, 4-2, 4-3, 4-6
•	システムメニューの画面の表示4-4
お	システムメニューの起動4-5
	システムメニューの初期化 4-48
オートパワーオフ4-47	自動実行4-7
音量 4-11	自動実行プログラム 付録 A-2
4)	
か	自動的に起動するプログラムの設定 4-7
外部インターフェース2-4	シフトキー1-3
拡張子3-3	充電2-10
拡張文字 2-17	充電時間2-10, 2-13
	周波数ホッピング方式1-8
確認 4-37	重量2-4
稼動モニタ1-6	使用温度2-4
画面出力キャラクタ 2-17	使用湿度2-4
画面表示のテスト4-43	省電力状態4-5
+	省電力タイムアウト4-18
き	小電力データ通信システムの
キー入力のテスト 4-44	
揮発性メモリ	無線局規格準拠2-2
キャンセルキー 1-3	照度条件2-4
+ャンピルナー1-3	初期化4-48
<	シリアル通信の設定 4-8
,	シリアル通信のテスト 4-42
クイックセーブ4-14	シリアル番号1-3
空中線電力 2-5	
	す
	スキャナ4-13

スキャン範囲2-6	データの格納場所3-3
スキュー 2-8	データビット4-50
ストップビット4-50, 付録 A-2	デコードトリガ 4-13
ストップビット長4-8	デッドゾーン2-8
スペクトラム拡散方式1-8	デバイス 付録 A-2
すべての初期化4-49	デバイス選択 4-12
寸法 2-4	テンキー1-3
tt	電源2-4
	電源スイッチ1-3
製品仕様	伝送速度2-5 電池電圧4-37
セーブしない	電波環境4-37
セカンダリ DNS サーバ 付録 A-3 赤色光半導体レーザー 2-4	
	ح
セキュリティ 2-5 セキュリティ ID 4-17. 付録 A-2	時計(設定)4-9
接続	時計(表示)4-38
接続手順(無線通信) 1-11, 1-12	時計機能2-4
全角文字 2-17	ドメイン4-17, 付録 A-2
専用充電器 2-10	ドメイン数2-5
	ドライブ4-35
そ	ドライブ F 2-15, 3-3, 4-4
送信方式	ドライブ S 2-15, 3-3, 4-4
	ドライブ情報4-35
tc	ドライブの構成 3-3
タイムアウト 付録 A-3	トリガモード付録 A-2
タイムアウト時間 4-45, 付録 A-4	σ
耐落下強度2-4	
ダイレクトリンク4-41	ノーマルトリガ4-13
ダウンロード 4-31	は
端末 ID1-9, 4-26	バーコード (サンプル) 付録 B-2
ち	バーコード (リンフル) 竹蘇 5-2
チャンネル数 2-5	バーコードの読取りテスト 4-43
チャンネル鉄4-17, 付録 A-2	バイブレータ2-4, 4-11
チャンネルの設定 1-9, 4-16	パケットサイズ
	パスワード4-21, 付録 A-3
)	バックアップバッテリー2-4
通信可能距離 2-5	バックアップ用電池 2-13
通信設定	バックアップ用電池の充電 2-14
通信速度 4-50	バックスペースキー 1-3
通信テスト 4-39	バックライト2-4, 4-3
通信ポート 4-50	バッテリーカートリッジ . 1-3, 2-10, 2-13
	バッテリーカートリッジの
て	長期間の保管2-12
デイジーチェーン6-6	バッテリーカートリッジの取り付け 2-11
低電圧警告 4-47	バッテリーカートリッジの取り外し 2-11
データ長4-8, 付録 A-2	バッテリーカートリッジロックレバー . 1-3

バッテリーカバー 1-3	保存温度2-4
バッテリーの使用可能期間 2-13	保存先4-51 保存湿度2-4
バッテリーの使用上の注意 2-13 バッテリーカートリッジの充電 2-10	休仔座長2-4
パリティ 4-8, 4-50, 付録 A-2	ま
パワーセーブ4-14, 付録 A-2	マネージャ IP アドレス 4-22, 4-23
パワーセーブモード 4-14	
半角文字 2-18	む
ハンディターミナル1-7	無線周波数2-5
υ	無線通信1-9
	無線通信の設定4-16
光通信ユニット 1-5, 6-1, 6-2	無線通信の方式1-8, 2-5
ピッチ 2-9	無線テスト4-39
表示 LED	無線伝送方式1-7
表示面積 2-4	無線パラメータの設定 4-18
表示文字 2-4	め
標準アプリケーション 3-2	メインバッテリー2-4
1	メモリ2-4
131	メモリバックアップ期間 2-13
ファイル情報 4-34	ф
ファイルの再配置 4-27	,
ファイルの削除 4-33	ユーザ名4-21
ファイルの受信(シリアル通信) 4-31	F
ファイルの受信 (無線通信) 4-30 ファイルの送信 (シリアル通信) 4-29	よ
ファイルの送信 (読取 LED1-2
ファイルのテスト 4-33	読取可能角度2-8
ファイル名 3-3	読取キー1-2
ファイル名について 3-3	読取距離範囲2-7
ファンクションキー1-3	読取口1-2
フォント 4-36	読取桁数2-4
不揮発性メモリ3-3	読取コード2-4 読取仕様2-6
ブザー2-4, 4-11, 付録 A-2	読取深度2-6
プライマリ DNS サーバ 付録 A-3	読取幅2-4
ブラウザ 1-6, 3-4	
フルセーブ 4-14	IJ
フロー制御 4-50	リリーストリガ4-13
分解能	ħ
ほ	レジューム 付録 A-2
防滴 2-4	レジューム機能2-16, 4-15
ポート4-8, 付録 A-2	連続使用時間2-4
ボーレート4-8, 付録 A-2	3
ホストアドレス 4-21, 4-45, 付録 A-3	ローバッテリー4-47
ホストコンピュータ6-6	ローハッテリ ー 4-4/

索引

ローミング	
ローミングレベル	4-18
ロール	2-9
ログイン名	付録 A-3
ロックレバー	2-11

FAX によるご質問または修理のご依頼の際は、下記用紙をコピーして各項目にご記入の上ご利用ください。

FAX お問い合わせ票/修理依頼票(どちらでご使用か に記してください)

御社名	部署
御氏名	TEL ()
E-Mail	FAX ()
御住所 〒	
お買い上げ店名	
【製品名】 SS 無	線レーザーリーダー 【型 番】 CTR-800-01
[SER No]	(本体パッテリ収納部に記載されています)
情報提供にご協	力ください
アプ゜リケーションプ゜ロク゛ラム	CTR-800 用ブラウザ(Ver .) ウェルキャット製特注 AP(Ver .) お客様にて開発された AP
WebGlider	使用している(Ver .) 使用していない
ご使用の台数	・CTR-800-01 <u>台</u> ・光通信ユニット(HIF-51) <u>台</u> ・SS 無線アクセスポイント(CTR-800-RL2) 台
ご使用の業務 / 場所 / 環境	(例)高温多湿の工場で****製造ラインの管理等
質問内容·不具	合症状の記入欄(できるだけ詳しくご記入ください)

修理の際は本紙にご記入のうえ修理品と一緒にお買い上げ店にお渡しください。

保証書のお買い上げ日から1ヶ年(ただし、最長で出荷日より1年3ヶ月)以内の場合、保証書のご提示により無償保証とさせて頂きます。ただし、無償保証期間内であっても有償となる場合もございますので、詳しくは保証書をご覧ください。 弊社製品の保守期間は、販売終了後5年間です。ご使用中の製品の販売終了に関する情報は、弊社ホームページ (http://www.welcat.co.jp/)にてご確認ください。

このマニュアルの著作権は株式会社ウェルキャットにあります。 このマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

SS 無線レーザーリーダー CTR-800-01 ハードウェア / システムメニュー ユーザーズマニュアル

2003年1月 第3版 発行

株式会社ウェルキャット

本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-17-12 IWATA ビル

TEL: 045-474-9800 FAX: 045-474-9815

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-7-19 第7新大阪ビル

 $TEL: 06\text{-}6307\text{-}0502 \qquad FAX: 06\text{-}6307\text{-}0504$

Homepage http://www.welcat.co.jp/
E-mail info@welcat.co.jp

Copyright©2002 Welcat Inc.

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

